ニコンデジタルカメラ

COOLPIX S7 S8

クールピクス S7
クールピクス S8

使用説明書

商標説明

- Microsoft®およびWindows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh®、Mac　OS®、QuickTime®は米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDロゴおよびPictBridgeロゴは商標です。
- Pictmotionはmuvee Technologies社の技術によるものです。
- ImageLinkおよびImageLink print systemのロゴは米国Eastman Kodak Companyの登録商標です。
- D-ライティングはアピカル社の技術によるものです。
- 顔認識AFはIdentix®（アイデンティクス社）の技術によるものです。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告（カメラについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
電池を取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。

使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
発光禁止	**車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと** 事故の原因となります。
発光禁止	**フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影する時は1 m以上離れてください。
保管注意	**幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
警告	**指定の電池または専用ACアダプターを使用すること** 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。
使用禁止	**ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠ 注意（カメラについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
保管注意	**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと** ケガの原因になることがあります。
保管注意	**使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。

移動注意	**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。
使用注意	**飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと** 本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。 病院で使う際も、病院の指示に従ってください。
禁止 プラグを抜く	**長期間使用しないときは電源（電池やACアダプター）を外すこと** 電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 ACアダプターをご使用の場合には、ACアダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
発光禁止	**内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因となることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。
放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** 内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
禁止	**付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと** 機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼす場合があります。

⚠危険
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

	電池を火に入れたり、加熱しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
	電池をショート、分解しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
	付属のACアダプターを使用してカメラで充電すること、または別売の専用充電器を使用すること 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
	Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL8は、ニコンデジタルカメラ専用の充電池で、COOLPIX S7/COOLPIX S8 に対応しています。EN-EL8に対応していない機器には使用しないこと 液もれ、発熱の原因となります。
	ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。 持ち運ぶときは端子カバーをつけてください。
	電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

	電池は幼児の手の届かないところに置くこと 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
	水につけたり、ぬらさないこと 液もれ、発熱の原因となります。
	変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと 液もれ、発熱の原因となります。
	充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること 液もれ、発熱の原因となります。
	電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービスセンターまたはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。
	電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠注意
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠ 警告
（専用ACアダプターについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出した時は、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電源プラグを抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
プラグを抜く すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池プラグを抜く際、やけどに充分注意してください。 電池プラグを抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
警告	**電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭き取ること** そのまま使用すると、火災の原因になります。
使用禁止	**雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
禁止	**電源コードを傷つけたり、加工したりしないこと** **また、重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、むりに曲げたりしないこと** 電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
感電注意	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと** 感電の原因となります。

⚠ 注意
（専用ACアダプターについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
放置禁止	**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと** ケガの原因になることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

目次

はじめに

使用説明書について

ニコンデジタルカメラCOOLPIX S7/COOLPIX S8をお買い上げくださいまして、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

●本文中のマークについて

カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。

カメラを使用する場合に、便利な情報を記載しています。

カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

関連情報を記載した参照ページを記載しています。

●表記について

- SDメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージ等は、[ ] で囲って表記しています。

●画面例について

本書では、液晶モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。

●本文中のイラストについて

- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、COOLPIX S8を使用しています。
  COOLPIX S7とCOOLPIX S8の違いは、液晶モニターサイズとサムネイル表示モード時の最大コマ数です。
  COOLPIX S7　　液晶モニター：3.0型、サムネイル表示：最大25コマ
  COOLPIX S8　　液晶モニター：2.5型、サムネイル表示：最大16コマ

●製品名の記載について

本書ではCOOLPIX S7、COOLPIX S8の製品名をS7、S8と表記している箇所があります。

内蔵メモリーとSDメモリーカードについて

本機は、内蔵メモリーとSDメモリーカードの両方に対応しています。SDメモリーカードをカメラにセットしているときは、SDメモリーカードが優先して使用されます。内蔵メモリーを使用して、撮影、再生、削除、初期化などの操作をするときは、SDメモリーカードをカメラから取り出してください。

ご確認ください

●保証書とカスタマー登録カードについて

この製品には保証書とカスタマー登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入後1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

カスタマー登録は下記のホームページからも行えます。

https://reg.nikon-image.com/

●カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、ACアダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL8には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のLi-ion リチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が出せないことや、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。

ホログラムシール

- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、ニコンサービスセンターで新しい使用説明書をお求めください（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡／廃棄するときのご注意

メモリー（SD メモリーカード／カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡／廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。
メモリーを譲渡／廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、「オープニング画面」の「撮影した画像」（114）も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡／廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビの近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書にしたがって正しくお取り扱いください。

各部の名称

ズームレバー（24）
- **W**：広角ズーム（24）
- **T**：望遠ズーム（24）
- サムネイル表示（50）
- 拡大（51）
- ヘルプ（11）

（フェイスクリアー）ボタン（48）
（D-ライティング）ボタン（54）

マイク（57、68）

スピーカー（57、74）

電源ランプ（22）

シャッターボタン（26）

電源スイッチ（22）

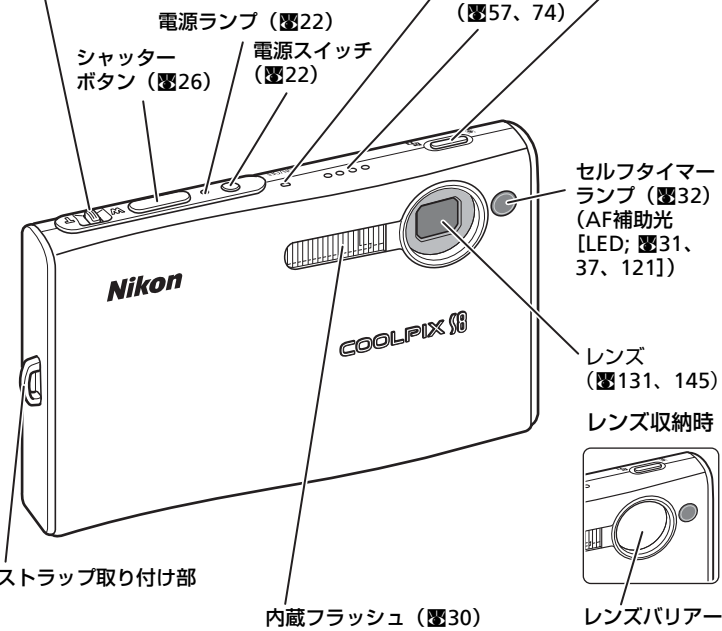
セルフタイマーランプ（32）（AF補助光[LED; 31、37、121]）

レンズ（131、145）

レンズ収納時

ストラップ取り付け部

内蔵フラッシュ（30）

レンズバリアー

ストラップの取り付け方

ロータリーマルチセレクター（10）

- ⚡（フラッシュモード）（30）
- セルフタイマー（セルフタイマーモード）（32）
- OK（決定）ボタン（10）
  - ブレ軽減モード（47）
    電子式手ブレ補正（55）
  - 転送ボタン（81、83）
- マクロ（マクロモード）（33）

液晶モニター（6）

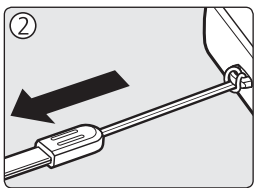
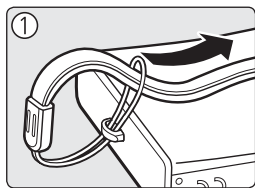
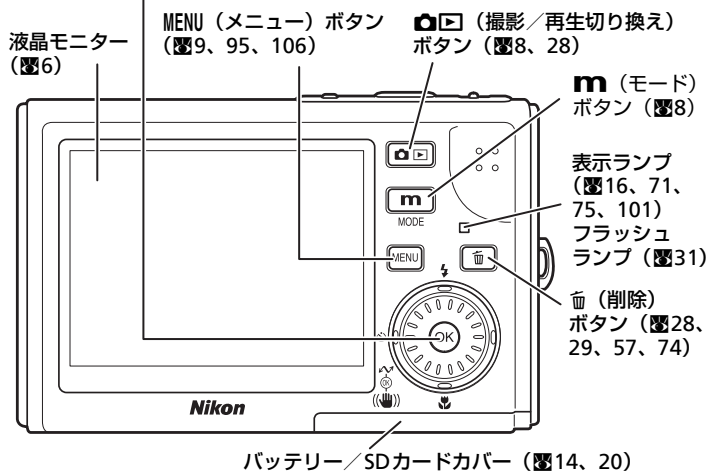
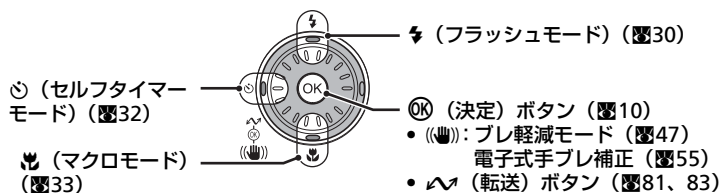
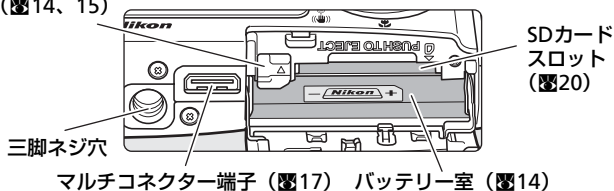
MENU（メニュー）ボタン（9、95、106）

撮影／再生（撮影／再生切り換え）ボタン（8、28）

m（モード）ボタン（8）

表示ランプ（16、71、75、101）
フラッシュランプ（31）

削除ボタン（28、29、57、74）

バッテリー／SDカードカバー（14、20）

液晶モニターの表示内容

説明のため、すべての表示を点灯させています。

撮影時

1	撮影モード※ ....22、34、35、47、68、75
2	AE-L表示 46
3	マクロモード 33
4	ズーム表示 .... 24、33
5	AF表示.......................................26
6	フラッシュモード.......................30
7	内蔵メモリー／SDカード表示 23
8	バッテリー残量..........................22
9	ISO感度表示...............................31
10	手ブレ補正表示..........................47
11	セルフタイマー..........................32

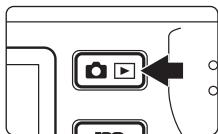
12	時計マーク.............................. 135 ワールドタイム...................... 115
13	デート写し込み....................... 119
14	記録可能コマ数（静止画）.........22 記録可能時間（動画）.................68
15	AFエリア ....26、104
16	露出補正値..................................99
17	画像モード..................................95
18	ピクチャーカラー.................. 103
19	ホワイトバランス......................97
20	BSS.................................... 102
21	連写モード.............................. 100

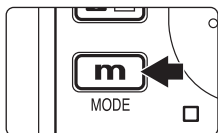
※撮影モードによって表示されるアイコンが異なります。各撮影モードを参照してください。

再生時

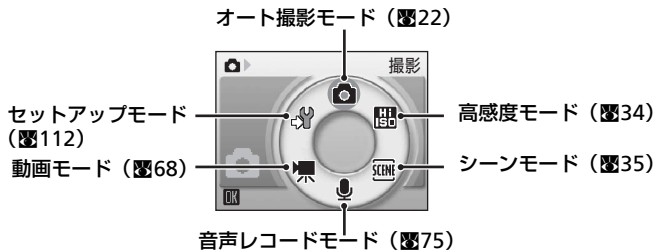
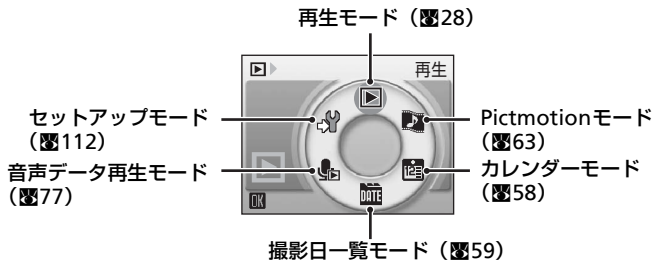
1	フォルダ名 129	11	a 手ブレ補正済み表示 b 手ブレ補正不可ガイド 55
2	ファイル名 129	12	音声メモ表示 57
3	内蔵メモリー／SDカード表示 ..23	13	画像モード 95
4	バッテリー残量 22	14	スモールピクチャー 56
5	音量 ....57、74	15	動画モード 74
6	音声メモガイド（録音）.............57	16	プロテクト表示 109
7	音声メモガイド（再生）.............57	17	プリント指定表示 91
8	画像の番号／全画像数 ....28 動画の再生時間 74	18	転送マーク .... 84、110
9	D-ライティング済み表示 54	19	撮影時刻 18
10	動画再生ガイド 74	20	撮影日 18

主なボタン操作とヘルプの使い方

(撮影/再生切り換え)ボタン

- 撮影モードで ボタンを押すと再生モードに、再生モードで押すと撮影モードに切り換わります。
- 電源がOFFの状態で ボタンを1秒以上押し続けると、1コマ再生モード(28)で電源がONになります。

m(モード)ボタン

撮影時や再生時に m ボタンを押すと、モードメニューが表示されます。ロータリーマルチセレクターを使って、各モードを切り換えます。(10)

- ボタンを押して、撮影モードメニューと再生モードメニューを切り換えることができます。

撮影時

再生時

MENU（メニュー）ボタン

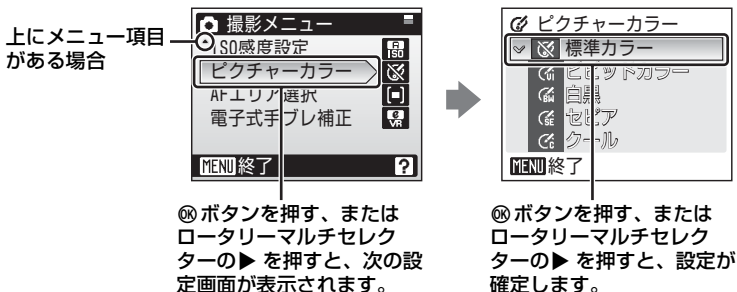
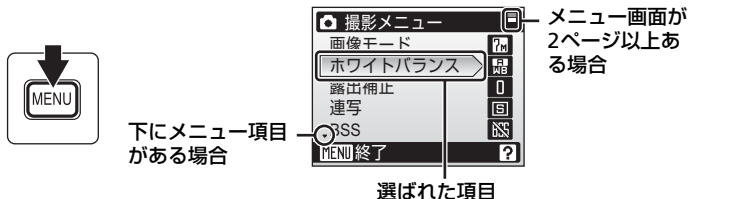
MENUボタンを押すと、選んでいるモードに応じて以下のメニューが表示されます。ロータリーマルチセレクターを使って、メニューを設定します。（10）

- 撮影メニュー（94）
- 高感度メニュー（94）
- シーンメニュー（35）
- ブレ軽減メニュー※1（47）
- フェイスクリアーメニュー※2（49）
- 動画メニュー（69）
- 再生メニュー（106）
- カレンダーメニュー（62）
- 撮影日一覧メニュー（62）
- プリントメニュー（88）
- セットアップメニュー※3（112）

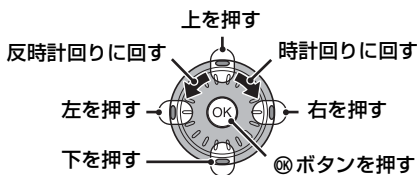
※1 ブレ軽減メニューを表示するには、ボタンを押してブレ軽減モードに入り、MENUボタンを押します。

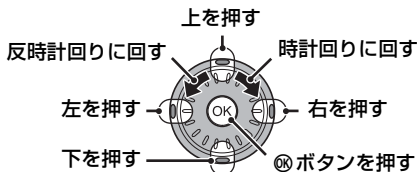
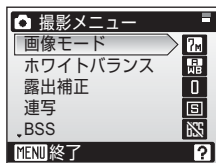
※2 フェイスクリアーメニューを表示するには、ボタンを押してフェイスクリアーモードに入り、MENUボタンを押します。

※3 モードメニューでを選んでOKを押すと、セットアップメニュー（112）が表示されます。

OKボタンを押す、またはロータリーマルチセレクターの▶を押すと、設定が確定します。

ロータリーマルチセレクター

ロータリーマルチセレクターは、外周部、回転部（外周部とⓀボタンの中間部）、Ⓚボタン（決定など）から構成されています。メニューや画像を選ぶには、外周部を上下左右に押す方法と、回転部を回す方法がありますが、回転部を回す方が素早く操作できるため、特にメニュー項目や画像枚数が多い場合に便利です。
ここでは、モードの決定やメニュー選択／決定時のロータリーマルチセレクターの代表的な使い方について説明します。

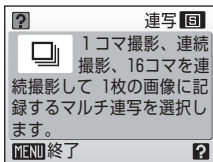
モードメニューで使う

- カーソルを時計回りに移動するには　：時計回りに回す／下を押す／右を押す
- カーソルを反時計回りに移動するには：反時計回りに回す／上を押す／左を押す
- モードを決定するには　：Ⓚボタンを押す

メニュー画面で使う

- カーソルを上方向に移動するには　：反時計回りに回す／上を押す
- カーソルを下方向に移動するには　：時計回りに回す／下を押す
- メニューを決定するには　：右を押す／Ⓚボタンを押す
- 設定をやめて前の画面に戻るには　：左を押す

ロータリーマルチセレクターの使い方の記載について

- ロータリーマルチセレクターは複数の操作が可能なため、各操作文では具体的に記載していません。注意が必要と思われる場合だけ、「▶ を押す」など具体的な操作を記載しています。
- 操作文では、上下左右部分を▲▼◀▶ と記載しています。

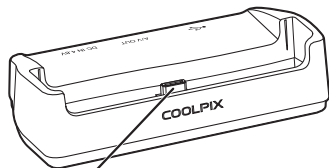
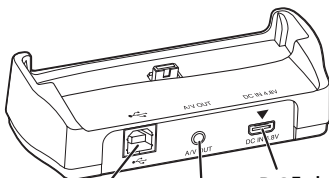
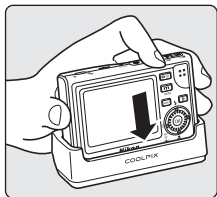
ヘルプの表示方法

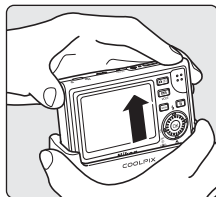
メニュー画面でズームレバーを**T**（❓）側に倒すと、選択中の項目に関するヘルプ（簡単な説明）が表示されます。

- ロータリーマルチセレクターで、前項目または次項目のヘルプが表示できます。
- ⓚボタンを押すと、ヘルプに対応した撮影モードか設定画面が表示されます。
- 元のメニュー画面に戻るには、もう一度ズームレバーを**T**（❓）側に倒します。
- MENUボタンを押すと、撮影または再生に戻ります。

COOL-STATIONとACアダプター

COOL-STATION

カメラを付属のCOOL-STATION（クールステーション）MV-15 (COOLPIX S7)/MV-14 (COOLPIX S8)に取り付けると、以下の操作ができます。

- カメラに入っているバッテリーを充電する（カメラの電源がOFFのとき）（16）
- 撮影した画像をテレビやビデオデッキで再生する（80）
- 撮影した画像をパソコンに転送する（81）
- プリンターにつないでプリント（ダイレクトプリント）する（85）

カメラを取り付ける

図のようにしっかり奥まで差し込んでください。

カメラを外す

図のようにカメラとCOOL-STATIONを持って取り外してください。

カメラに付属の電源コードについてのご注意（13）

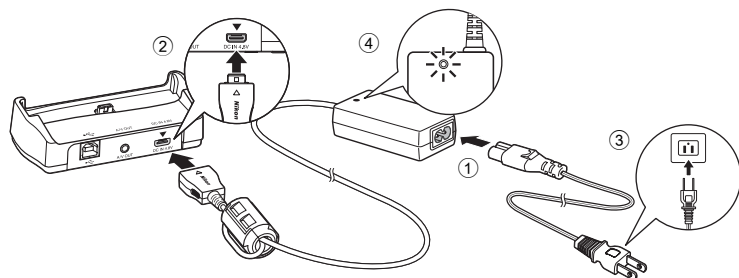
カメラに付属の電源コードはEH-64以外の機器に接続しないでください。この電源コードは日本国内専用（AC100V対応）です。日本国外でお使いになる場合は、別売の専用コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービスセンターにお問い合わせください。また、ニコンオンラインショップhttp://shop.nikon-image.com/でもお求めいただけます。

ACアダプター

付属のACアダプター EH-64は、以下の機能があります。

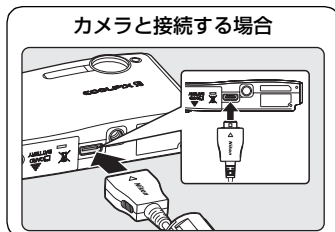
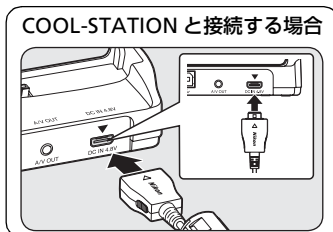
- カメラの電源がONのとき、家庭用電源（AC100V）からカメラに電力を供給する
- カメラの電源がOFFのとき、カメラに入っているバッテリーを充電する（16）

画像の再生時やパソコン、プリンターとの接続時など、カメラを長時間お使いの場合は、ACアダプターをお使いになることをおすすめします。EH-64以外のACアダプターは絶対にお使いにならないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

ACアダプターは次の手順で接続してください。

1 電源コードとACアダプターを接続する（①）

2 COOL-STATIONまたはカメラとACアダプターを接続する（②）

COOL-STATION と接続する場合

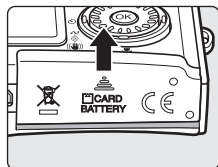
カメラと接続する場合

- 接続の際は、プラグの向きにご注意ください。向きを間違えると、カメラやCOOL-STATIONが破損する恐れがあります。

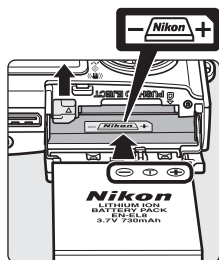
3 電源プラグをコンセントに差し込む（③）

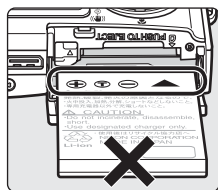
- 正しく接続すると、ACアダプターのランプが点灯します（④）。

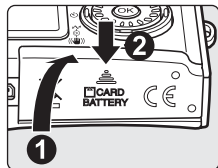
バッテリーを入れる

付属のLi-ionリチャージャブルバッテリー（リチウムイオン充電池）EN-EL8をお使いください。お買い上げ直後やバッテリー残量が少なくなったときは、バッテリーを充電してからお使いください。（16）

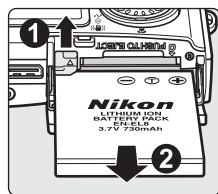
1 バッテリー／SDカードカバーを開ける

2 バッテリーを入れる

- バッテリー室内の表示を見ながら、＋と－を正しい向きで入れてください。
- バッテリーは、オレンジ色のバッテリーロックレバーを押し上げながら差し込んでください。奥まで差し込むと、バッテリーロックレバーが下がり、バッテリーが固定されます。

逆挿入注意

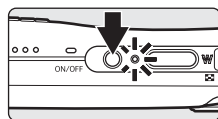
バッテリーの向きを間違えると、カメラが破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、よくご確認ください。

3 バッテリー／SDカードカバーを閉じる

撮影の準備

バッテリーを取り出すときは

電源ランプが消灯していることを確認してから、バッテリー／SDカードカバーを開けてください。オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押し上げると（❶）、バッテリーが押し出されるので、そのまままっすぐ引き抜いてください（❷）。

- カメラを使った直後は、バッテリーが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

電源をON/OFFするには

電源スイッチを押すと、電源ランプと液晶モニターが点灯します。電源ランプが点灯しているときに、電源スイッチを押すと、電源はOFFになります。
電源がOFFの状態で▶ボタンを1秒以上押し続けると、1コマ再生モードで電源がONになります（28）。

撮影の準備

バッテリーについてのご注意

- バッテリーをカメラに入れるときは、必ず「安全上のご注意」の「危険」、「警告」の注意事項をお守りください。
- 「取り扱い上のご注意　バッテリーについて」（133）を良くお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

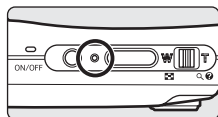
バッテリーを充電する

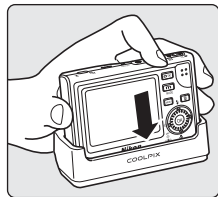
お買い上げ直後やバッテリーの残量が少なくなったときは、バッテリーを充電してください。

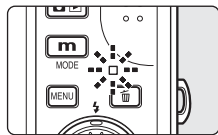
1 COOL-STATIONとACアダプターを接続し、電源プラグをコンセントに差し込む（⊠13）

- ACアダプターの電源ランプが点灯します。

2 カメラの電源ランプが消灯していることを確認する

- 点灯している場合は、電源スイッチを押して、電源をOFFにしてください。電源がONになっていると、バッテリーは充電されません。

3 カメラをCOOL-STATIONに取り付ける（⊠12）

- 奥までしっかりと差し込んでください。

4 充電が始まる

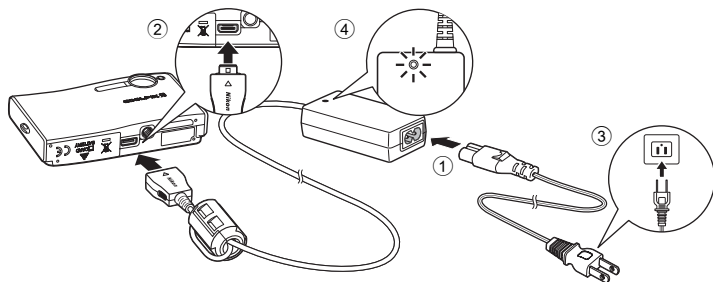
- 充電中、表示ランプが緑色で点滅します。早く点滅した場合は、カメラが正しく取り付けられていないか、バッテリーの異常です。カメラを正しく取り付ける、またはバッテリーを交換してください。
- 残量がないバッテリーを充電する場合、約2時間かかります。

5 充電が終わる

- 表示ランプが点滅から点灯に変わると、充電完了です。

6 カメラをCOOL-STATIONから取り外す

- コンセントから電源コードを抜いてください。

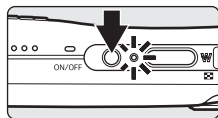
COOL-STATIONを使わずに充電する

- 旅先などでCOOL-STATIONがない場合でも、バッテリーを充電できます。カメラにバッテリーを入れ、電源がOFFになっていることを確認してから、ACアダプターをカメラのマルチコネクター端子に直接接続してください（13）。

- 別売のバッテリーチャージャー MH-62（128）でも充電できます。

表示言語と日時を設定する

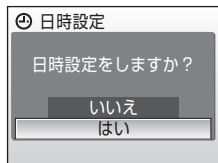
お買い上げ後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

1 電源スイッチを押して、電源をONにする

- 電源ランプ（緑）と液晶モニターが点灯します。

2 ロータリーマルチセレクターで表示言語を選び、Ⓚボタンを押す

- ロータリーマルチセレクターの使い方（10）

3 ［はい］を選び、Ⓚボタンを押す

- 日時設定を中止するときは［いいえ］を選びます。

4 Ⓚを押す

- ［自宅の設定］画面が表示されます。
- 夏時間（サマータイム）が現在実施されている場合は、次ページの「夏時間の設定について」をご覧ください。

5 自宅のあるタイムゾーン（都市名）を選び、Ⓚボタンを押す

- ［日時設定］画面が表示されます。

6 ［年］を合わせ、Ⓚを押す

7 ［月］を合わせ、Ⓚを押す

8 手順6、7と同様の手順で［日］と分単位まで時刻を合わせて、Ⓚを押す

- ［年月日］が点滅します。

9 ［年月日］の表示順を選び、Ⓚボタンを押す

- 設定が有効になり、撮影モードの画面が表示されます。

夏時間の設定について

夏時間（サマータイム）が現在実施されている場合は、手順4の［ワールドタイム］画面で［夏時間］のチェックボックスをオン（✔）にしてから、現在の時刻を設定します。

1 ［ワールドタイム］画面でロータリーマルチセレクターで［夏時間］を選ぶ

2 Ⓚボタンを押して、チェックボックスをオン［✔］にする
もう一度Ⓚボタンを押すとチェックボックスをオフにできます。

3 ロータリーマルチセレクターで手順4に戻り、手順5の画面に進む

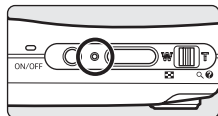
夏時間の期間が終了したときは、［日時設定］（115）で［夏時間］のチェックボックスをオフにしてください。カメラの時刻が1時間戻ります。

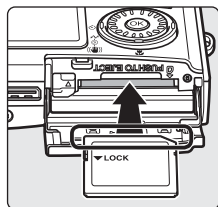
SDカードを入れる

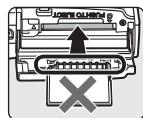
撮影した画像は、カメラの内蔵メモリー（約14MB）、または市販のSDカード（🔍128）のどちらかに記録されます。

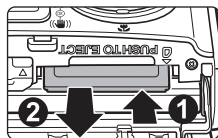
カメラにSDカードを入れると、SDカードに記録されます。SDカードが入っているときは、SDカードの画像のみ再生・削除・転送できます。内蔵メモリーを使いたいときは、SDカードを取り出してください。

1 電源ランプが消灯していることを確認してから、バッテリー／SDカードカバーを開ける

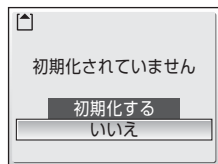
- 点灯している場合は、電源スイッチを押して電源をOFFにしてください。
- SDカードを抜き差しするときは、必ず電源をOFFにしてください。

2 SDカードを入れる

- 右図のように正しい向きで、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 挿入後、バッテリー／SDカードカバーを閉めてください。

☑ 逆挿入注意

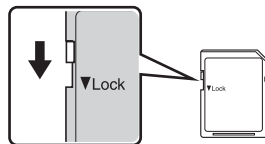
向きを間違えて入れると、カメラやSDカードが破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ず確認してから挿入してください。

SDカードを取り出すときは

電源ランプと表示ランプが消灯していることを確認してから、バッテリー／SDカードカバーを開けてください。カードを指で軽く奥に押し込んで離すと（①）、カードが押し出されるので（②）、まっすぐ引き抜いて取り出してください。

SDカードの初期化

電源をONにしたときに右のように表示された場合は、SDカードを初期化する必要があります。SDカードを初期化（📖123）すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。カード内に必要なデータが残っている場合は、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。
ロータリーマルチセレクターで［初期化する］を選び、OKボタンを押すと確認画面が表示されます。もう一度［初期化する］を選び、OKボタンを押すと初期化が始まります。

- 初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリーやSDカードを取り出したりしないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使う場合は、必ず［標準初期化］（📖123）をしてからお使いください。

SDカードの書き込み禁止スイッチについてのご注意

SDカードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このスイッチを「Lock」の位置にすると、データの書き込みや削除が禁止され、カード内の画像を保護できます。撮影時や画像を削除するとき、カードを初期化するときは「Lock」を解除してください。

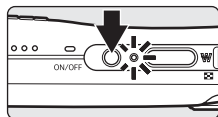
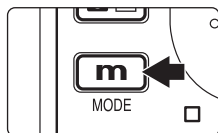
書き込み禁止スイッチ

SDカードの取り扱い上のご注意

- SDカード以外のメモリーカードは使えません。
- 初期化中や画像の記録・削除中、パソコンとの通信時などには、以下の操作をしないでください。記録されているデータの破損やカードの故障の原因となります。
  - カードの着脱をしないでください
  - バッテリーを取り出さないでください
  - カメラの電源をOFFにしないでください
  - ACアダプターを外さないでください
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 端子部を手や金属で触らないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たるところなどには置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりが多いところ、腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

ステップ1　電源をONにして（オート撮影）を選ぶ

（オート撮影）モードでは、撮影状況に合わせて各機能が最適な状態に自動的に設定されるので、はじめてデジタルカメラをご使用になる方でも簡単に撮影できます。

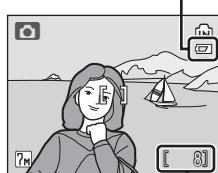
1 電源スイッチを押して電源をONにする

- 電源ランプと液晶モニターが点灯します。
- 画面にが表示されている場合は、手順4に進んでください。

2 ボタンを押す

3 ロータリーマルチセレクターでを選び、ボタンを押す

- （オート撮影）モードになります。

4 バッテリー残量と記録可能コマ数を確認する

バッテリー残量

モニター表示	内容
表示なし	バッテリー残量は充分にあります。
	バッテリー残量が少なくなりました。 バッテリー充電や交換の準備をしてください。
電池残量がありません	撮影できません。バッテリーを充電または交換してください。

記録可能コマ数

撮影できる残りのコマ数が表示されます。

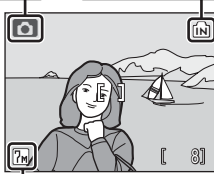
記録可能コマ数は内蔵メモリーまたはセットしているSDカードのメモリー残量と画像モードによって異なります。

簡単な撮影と再生―オート撮影モードを使う

📷（オート撮影）モードでの液晶モニター表示

撮影モード
オート撮影のときには📷が表示されます。

内蔵メモリー／SDカード表示

IN	画像は内蔵メモリーに記録されます。
SD	画像はSDカードに記録されます。

画像モード
撮影目的に応じて、6種類の画像が選べます。初期設定は7M標準（3072×2304）です。

📷（オート撮影）モードで使用可能な機能について

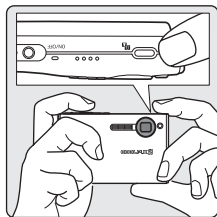
📷（オート撮影）モードではフラッシュモード（☞30）、セルフタイマー（☞32）、マクロモード（☞33）の設定ができます。また、📷（オート撮影）モードのときにMENUボタンを押すと、撮影メニューが表示され、画像モード（☞95）、ホワイトバランス（☞97）、露出補正（☞99）、連写（☞100）、BSS（☞102）、ISO感度設定（☞103）、ピクチャーカラー（☞103）、AFエリア選択（☞104）、電子式手ブレ補正（☞104）の各項目を、撮影状況に合わせて設定できます。

撮影時の節電機能について

カメラを操作しない状態が約5秒続くと、バッテリーの消耗を抑えるため、液晶モニターの表示が暗くなります。カメラを操作すると、元の明るさに戻ります。また、カメラを操作しない状態が約1分（初期設定）続くと、液晶モニターが自動的に消灯します。そのまま約3分経過すると、電源が自動的にOFFになります。（☞122）

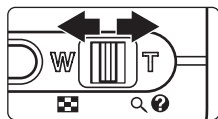
ステップ2　カメラを構え、構図を決める

1 カメラをしっかりと構える

- カメラを両手でしっかりと持ってください。レンズやフラッシュ、マイクなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。
- 縦位置で撮影するときは、フラッシュ発光部を上にしてください。

2 構図を決める

- 写したいもの（被写体）を画面の中央付近にとらえてください。

ズームを使う

ズームレバーを操作すると、光学ズームが作動して被写体の大きさを変えることができます。広い範囲を写したいときは**W**（ ）方向、被写体を大きく写したいときは**T**（ ）方向に倒してください。

光学ズームを最も望遠側にして、さらに**T**（ ）方向に倒し続けると、電子ズームが作動し、光学ズームの最大倍率（約3倍）の約4倍（合計約12倍）まで拡大できます。

ズームの量は画面上部で確認できます。

ズームレバーを操作すると、画面上部にズームの量が表示されます

光学ズームの最高倍率（約 3 倍）

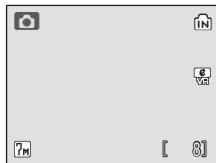
電子ズームが作動すると、表示が黄色に変わります

電子ズームについてのご注意

電子ズームは光学ズームとは違い、デジタル処理によって画像を拡大するため、粒子の粗い画像になります。

電子式手ブレ補正について

（オート撮影）モードでは、撮影条件によって［電子式手ブレ補正］（104）が働き、画像の記録時に手ブレを補正することがあります（撮影時に、液晶モニターにが表示されます）。
この［電子式手ブレ補正］は、撮影メニュー（94）の［電子式手ブレ補正］で［OFF］にも設定できます。

- ［電子式手ブレ補正］は、撮影モードがアシスト付きシーンモードの［夜景ポートレート］、シーンモードの［パーティー］でも働きます。ただしこれらのシーンモードでは、［電子式手ブレ補正］を［OFF］に設定できません。
- ［電子式手ブレ補正］は、再生中の画像にも適用できます（55）。

高感度モードについて

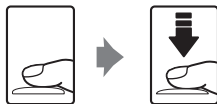
高感度モード（34）を使うと、ISO感度が高めに設定され、（オート撮影）モードよりシャッタースピードが速くなり、被写体が動くことによるブレ（被写体ブレ）を軽減することができます。暗いシーンでの撮影で、手ブレを軽減するのにも最適です。

ブレ軽減モードについて

ブレ軽減モード（47）を使うと、［電子式手ブレ補正］（104）、［BSS］（ベストショットセレクター：最大10コマを連写し、最も鮮明な1コマをカメラが自動的に選んで記録する機能）（102）が自動的に［ON］になります。また、ISO感度が高めに設定され、（オート撮影）モードよりシャッタースピードが速くなります。手ブレ、被写体ブレの影響を軽減し、鮮明な画像を撮影できます。

ステップ3　ピントを合わせてシャッターボタンを押す

1 シャッターボタンを半押しする

- 画面中央の AF エリアに重なっている被写体にピントが合います。
- ピントが合うと、AF エリア表示が緑色に変わり、緑色のAF表示が点灯します。
- AF 表示と AF エリアが赤色点滅した場合は、ピントが合っていません。構図を変えてもう一度シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてください。

2 シャッターボタンを全押しする

- シャッターがきれ、画像が記録されます。
- 暗い場所などではAF補助光が点灯したり、フラッシュが発光する場合があります。

シャッターボタンの半押し

シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しするとピントと露出が合い、そのまま深く押し込むと、シャッターがきれます。シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレ）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。

画像の記録についてのご注意

画面にが表示されているときや、またはが点滅しているときは、画像の記録中です。SDカードやバッテリーなどを取り出さないでください。画像の記録中にSDカードやバッテリーを取り出すと、画像が記録されなかったり、撮影した画像やカメラ、SDカードが壊れる場合があります。

フォーカスロック撮影

［AFエリア選択］を［中央］に設定（104）していても、ピントを固定（フォーカスロック）する方法を使うと、構図を工夫して撮影することができます。また、ピントが合いにくい※被写体を撮影する場合も有効です。

1 ピントを合わせたい被写体を画面中央に配置する

2 シャッターボタンを半押しする
- ピントが合い、AF表示が緑色に点灯します。

3 半押ししたまま構図を変える
- 被写体との距離は変えないでください。

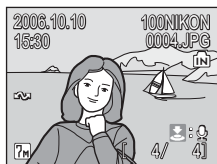
4 シャッターボタンを全押しする

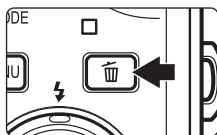
※オートフォーカスが苦手な次のような被写体を撮影するのに便利です。
- 被写体が非常に暗い場合
- 画面内の輝度差が非常に大きい場合（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない場合（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）を撮影する場合
- 動きの速い被写体を撮影する場合

ステップ4　撮影した画像を確認する／削除する

画像を確認する（1コマ再生モード）

📷▶ボタンを押す

- 最後に撮影した画像が表示されます。
- ロータリーマルチセレクターで前後の画像を表示できます。早く回すと、画像を早送りできます。
- カメラを縦に構えて撮影した画像（縦位置の画像）は、設定により自動的に回転して表示されます。（122）また、回転方向を変更できます。（110）
- 前の画像や次の画像に切り換えた直後は、表示が粗くなる場合があります。
- 撮影に戻るには、もう一度📷▶ボタンを押します。

画像を削除する

1 削除したい画像を表示させて🗑ボタンを押す

2 ロータリーマルチセレクターで［はい］を選び⊛ボタンを押す

- 削除するのをやめるときは、［いいえ］を選んで⊛ボタンを押します。

1コマ再生モードで使える機能

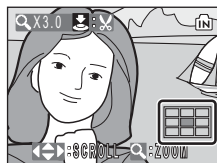
1コマ再生モードでは次の機能が使えます。

機能	操作	内容	参照
画像を拡大する	T（Q）	クイック拡大後、最大約10倍までの倍率に切り換えます。	51
サムネイル表示に切り換える	W（▦）	4コマ、9コマまたは16コマのサムネイル画像を表示します。（S8） 4コマ、9コマ、16コマまたは25コマのサムネイル画像を表示します。（S7）	50
音声メモを録音／再生する	（シャッターボタン）	最大20秒の音声を録音／再生します。	57
暗い部分を明るく補正する（D- ライティング）	（D-ライティングボタン）	撮影した画像の暗い部分を明るく補正します。	54
手ブレを補正する	OK	静止画を表示しているとき OK ボタンを押すと、手ブレを補正します。	55
動画を再生する	OK	動画を表示しているとき OK ボタンを押すと、動画を再生します。	74
再生メニューを表示する	MENU	MENU ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。	106
再生モードメニューを表示する	m	m ボタンを押すと、再生モードメニューが表示されます。	8
撮影のモードに切り換える	撮影/再生	撮影/再生ボタンを押すと、直前の撮影モードになります。	28

クイック拡大について

1コマ再生モードでズームレバーを T（Q）方向に倒すと、表示中の画像の中央部が約3倍に拡大表示されます（51）。

OK ボタンを押すと、1コマ再生モードに戻ります。

クイック拡大では、縦位置表示されていた画像が横位置表示になります。

画像の再生について

- 電源がOFFの状態で撮影/再生ボタンを1秒以上押し続けると、1コマ再生モードで電源がONになります。
- 内蔵メモリーに記録した画像を再生したいときは、SD カードをカメラから取り出してください。

撮影時に画像を削除する

撮影時に削除ボタンを押すと、直前に撮影した画像が削除できます。確認画面が表示されますので、ロータリーマルチセレクターで［はい］を選び、OK ボタンを押します。

- 削除をやめるときは、［いいえ］を選んで OK ボタンを押します。

簡単な撮影と再生ーオート撮影モードを使う

フラッシュを使う

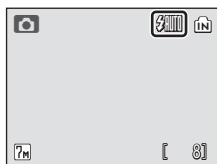
フラッシュの発光モードを撮影状況に合わせて設定できます。フラッシュの光が充分に届く距離は、広角側で約0.3～7.5 m、望遠側で約0.3～4 mです。

AUTO	**自動発光（オートモードの初期設定）**
	暗い場所などで、自動的にフラッシュが発光します。
	赤目軽減自動発光
	人物撮影に適しており、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減できます（31）。
	発光禁止
	フラッシュは発光しません。
	強制発光
	被写体の明るさに関係なく、必ずフラッシュが発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
	スローシンクロ
	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景をきれいに写します。

1 （フラッシュモード）を押す

- 液晶モニターにフラッシュモードの設定メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターでモードを選び、OKボタンを押す

- 設定したフラッシュモードが表示されます。
- ［モニター表示設定］（118）を［情報 AUTO］に設定すると、フラッシュモードは5秒間表示され消灯します。［情報ON］に設定すると、AUTOのみ5秒後に消灯します。
- （オート撮影）モード、高感度モードで設定したフラッシュモードは、電源をOFFにしても記憶されます。
- OKボタンを押さないまま5秒以上経過すると、選択はキャンセルされます。

⚠ （発光禁止）にセットして暗い場所で撮影するときのご注意

- 手ブレしやすくなるため、三脚などでカメラを固定して撮影してください。
- 液晶モニターに［ISO］と表示されることがあります。［ISO］と表示されたときは、ISO感度が上がっているため、通常よりもざらついた画像になることがあります。

フラッシュ使用時のご注意

フラッシュを使用して撮影すると、フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して、画像の中に白い点のように写り込んでしまう場合があります。このような場合は、フラッシュモードを（発光禁止）にして撮影することをおすすめします。

AF補助光について

暗い場所で撮影するとき、シャッターボタンを半押しすると、自動的にAF補助光が点灯する場合があります。AF補助光が届く距離は、カメラから約1.9 m（広角側）、約1.1 m（望遠側）です。AF補助光が点灯しないように設定（121）することもできますが、ピントが合いにくくなることがあります。

フラッシュランプについて

シャッターボタン半押し時に、フラッシュの状態を確認できます。

- 点灯：撮影時にフラッシュが発光します。
- 点滅：フラッシュの充電中のため、撮影できません。
- 消灯：撮影時にフラッシュは発光しません。

赤目軽減自動発光について

このカメラは、アドバンスト赤目軽減方式を採用しています。シャッターが切れる直前にフラッシュを小発光させて赤目現象の発生を抑えます。さらに、カメラが赤目現象を検出すると赤目部分を画像補正して記録します。そのため、次のシャッターが切れるようになるまでの時間が通常よりやや長くなります。

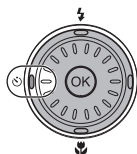
- シャッターチャンスを優先する撮影にはおすすめできません。
- 撮影状況によっては、望ましい結果が得られない場合があります。
- ごくまれに赤目以外の部分が補正される場合があります。

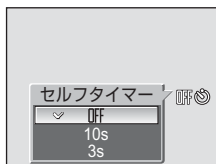
以上のような場合は、他のフラッシュモードで撮影してください。

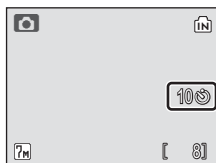
セルフタイマーを使う

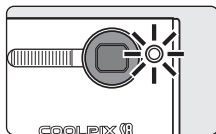
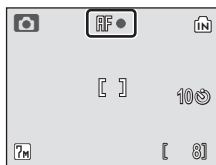
記念撮影など自分も一緒に写りたいときや、シャッターを押す操作による手ブレを軽減したいときは、セルフタイマーが便利です。タイマー時間は10秒と3秒の2種類から選べます。セルフタイマー撮影時は、平らな場所に三脚などでカメラを固定してください。

1 ◴（セルフタイマー）を押す

- 液晶モニターにセルフタイマーの設定メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで［10s］または［3s］を選び、Ⓚボタンを押す

- ［10s］（10秒）：記念撮影などに適しています。
  ［3s］（3秒）　：手ブレの軽減に適しています。
- 設定したセルフタイマーモードが表示されます。
- Ⓚボタンを押さないまま5秒以上経過すると、選択はキャンセルされます。

3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。

4 シャッターボタンを全押しする

- セルフタイマーが作動し、セルフタイマーランプが点滅します。シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれるまでの秒数が液晶モニターに表示されます。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。

マクロ（接写）モードを使う

最短約4 cmまで被写体に近づいて撮影することができます。ただし、フラッシュ撮影時は、被写体から30 cm以上離れなければ、フラッシュの光が充分に行き渡らない場合がありますのでご注意ください。

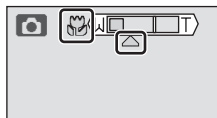
1 🌷（マクロモード）を押す

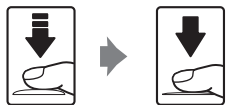
- 液晶モニターにマクロモードの設定メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで［ON］を選び、OKボタンを押す

- 🌷マークが表示されます。
- OKボタンを押さないまま5秒以上経過すると、選択はキャンセルされます。

3 ズームレバーを操作して構図を決める

- 🌷マークが緑色で表示されているとき（ズーム位置が△付近のとき）は、レンズ前約4 cmの被写体にピントを合わせられます。

4 ピントを合わせて撮影する

- 📷（オート撮影）モードで設定したマクロモードは、電源をOFFにしても記憶されます。

マクロモードについて

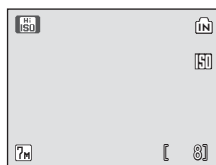
マクロモードでは、シャッターボタンの半押しでフォーカスロックされるまで、カメラは常にAF（オートフォーカス）によるピント合わせを繰り返します。

高感度モードで撮影する

高感度モードでは、以下のような撮影ができます。

- ISO感度が高めに設定され、📷（オート撮影）モードよりシャッタースピードが速くなります。
- 薄暗い室内、夕景、夜景でも、手ブレ、被写体ブレの影響を防ぎ、周りの雰囲気を活かした撮影ができます。
- ブレ軽減モード（🔍47）より、暗いシーンでの撮影に適しています。

1 撮影時にmボタンを押してモードメニューを表示し、ロータリーマルチセレクターで🅷を選び、OKボタンを押す

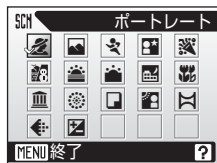
2 構図を決めて撮影する

高感度モードのご注意

- 暗い場面でも手ブレ、被写体ブレが低減されますが、シャッタースピードが低速になる場合は、カメラを三脚などで固定して撮影することをおすすめします。
- 撮影した画像が多少ざらつく場合があります。
- 極端に暗い場面では、ピントが合いにくくなる場合があります。

高感度モード時の撮影メニューの設定

高感度モードでMENUボタンを押すと、高感度メニューが表示されます。📷（オート撮影）モードと同様に撮影メニューが設定できます（🔍94）。［ISO感度］、［電子式手ブレ補正］は設定できません。

シーンモードについて

撮影シーンに合わせて以下の15種類からシーンモードを選ぶだけの簡単な操作で、シーンに合った撮影ができます。

アシスト機能付きシーンモード（4種類）

画面に構図を決めるためのガイドが表示されるなど、撮影をお手伝いする「アシスト機能」が充実したモードです。

ポートレート

人物を際だたせたポートレート写真の撮影に適しています。

風景

風景の撮影や、風景をバックにした人物撮影に適しています。

スポーツ

運動会などのスポーツ写真の撮影に適した連写ができます。

夜景ポートレート

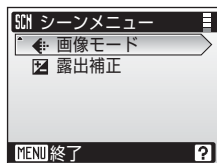
夜景をバックにした人物撮影に適しています。

その他のシーンモード（11種類）

シーンを選び、シャッターボタンを押すだけで簡単により被写体に適した画像が撮影できるモードです。

パーティー	夜景	モノクロコピー
海・雪	クローズアップ	逆光
夕焼け	ミュージアム	パノラマアシスト
トワイライト	打ち上げ花火	

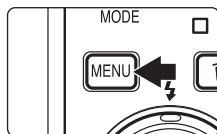
シーンモードでの画像モード・露出補正設定

［シーンメニュー］や、アシスト機能付きシーンモードのアシストメニューで［画像モード］（95）、［露出補正］（99）を設定できます。画像モードの設定は他のモードと連動しているため、どのモードで設定しても同じ設定になります。露出補正の設定は、他のモードに切り換えるとリセットされます。

アシスト機能付きシーンモード

アシスト機能付きシーンモードでは、構図を決めるためのガイドが表示されるなど、さまざまなアシスト機能が撮影のお手伝いをします。

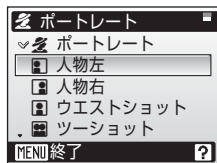
アシスト機能付きシーンモードで撮影するには

1 撮影時に m ボタンを押してモードメニューを表示し、ロータリーマルチセレクターで SCENE を選び、OK ボタンを押す

2 MENU ボタンを押す

3 アシスト機能付きシーンモードを選び、OK ボタンを押す

- アシストメニューが表示されます。

アシスト機能付きシーンモード

4 アシスト機能を選び、OK ボタンを押す

5 構図を決めて、撮影する

- ガイドが表示されるモードでは、被写体をガイドに合わせて撮影します。

ポートレート

人物を美しく撮影したときに使います。人物の肌をなめらかで自然な感じに仕上げます。

ポートレート

ガイドは表示されず、画面中央にピントが合います。

人物左

人物の上半身をやや左に寄せて撮影するときに使います。ガイド内にピントが合います。

人物右

人物の上半身をやや右に寄せて撮影するときに使います。ガイド内にピントが合います。

ウエストショット

人物の上半身を撮影するときに使います。ガイド内にピントが合います。

ツーショット

2人並んだ人物の上半身を撮影するときに使います。ガイド内にピントが合います。

縦位置

人物を縦位置で撮影するときに使います。ガイド内にピントが合います。このモードで撮影した画像は、再生時に縦位置で表示されます。

フラッシュ	赤目軽減※1	セルフタイマー	OFF※1	マクロ	OFF	AF補助光	OFF※2

※1 変更可能です。

※2 ［ポートレート］では、暗い場所でAF補助光が自動的に点灯します。

AF補助光（AF補助光）について

AF補助光マークはAF補助光を示すマークです。AF補助光は、オート/OFFを設定できます（121）。ただし、オートでも液晶モニターにAF補助光マークは表示されません。

風景

自然の風景や街並みなどを、色鮮やかに撮影したいときや、風景をバックにした人物撮影に使います。

風景

ガイドは表示されず、遠景にピントが合います。※1

山

遠くの山並みを撮影するときに使います。遠景にピントが合います。※1
山の稜線が波形のガイドに重なるように構図を合わせます。

建物

建物を撮影するときに使います。遠景にピントが合います。※1
構図を合わせやすいように、格子状のガイドが表示されます。

左背景

背景を左に人物を右に配置した構図で撮影するときに使います。ガイド内の人物にピントと露出が合います。

右背景

背景を右に人物を左に配置した構図で撮影するときに使います。ガイド内の人物にピントと露出が合います。

フラッシュ	※2	セルフタイマー	OFF※3	マクロ	OFF	露出補正	OFF

※1 シャッターボタンを半押しすると、常にAF表示（26）が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。

※2 ［左背景］［右背景］では、AUTOに設定されます。変更可能です。

※3 変更可能です。

スポーツ

運動会などスポーツ写真を撮影するときに使います。動きのある被写体の一瞬の動きを連写（連続撮影）によって鮮明にとらえます。このモードでは、ガイドは表示されません。

スポーツ

シャッターボタンを全押ししている間、約1.4コマ／秒で連写できます。※1
画像モードが7M標準（3072）の場合、連続で約7コマ撮影できます。
シャッターボタンの半押しでピントが固定されるまで、カメラは常にAF（オートフォーカス）によるピント合わせを繰り返します。

スポーツ観戦

光学ズームの最も広角側で約4.5 m以上、最も望遠側で約6 m以上離れた被写体にピントが合うように、ピントが固定されます。
シャッターボタンを全押ししている間、「スポーツ」と同様に連写できます。

スポーツマルチ連写

シャッターボタンを1回全押しすると、約2.4秒間で16コマの連続写真を撮影し、右のような1コマの画像（2M標準（1600））として記録します。※1
シャッターボタンの半押しでピントが固定されるまで、カメラは常にAF（オートフォーカス）によるピント合わせを繰り返します。

			OFF		OFF		OFF

※1　シャッターボタンを押していなくても常に画面中央にピントが合っています。

夜景ポートレート

夕景や夜景をバックに人物を撮影するときに使います。人物と背景の両方を美しく表現します。アシスト機能は、［ポートレート］（37）と同様です。

- シャッタースピードが低速の場合、電子式手ブレ補正が働きます（104）。

フラッシュ	赤目軽減※1	セルフタイマー	OFF※2	マクロ	OFF	AF補助光	OFF※3

※1　赤目軽減スローシンクロ強制発光に固定されます。

※2　変更可能です。

※3　アシスト機能の［夜景ポートレート］を選んだ場合は、暗い場所でAF補助光が自動的に点灯します。

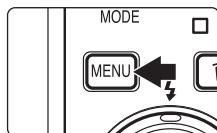
三脚などのご使用をおすすめします。

NR　自動的にノイズ低減が行われるため、画像の記録時間が通常より長くなります。

シーンモード

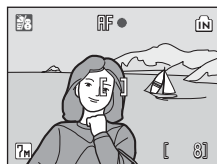
シーンモードで撮影するには

1 撮影時に m ボタンを押してモードメニューを表示し、ロータリーマルチセレクターで SCENE を選び、OK ボタンを押す

2 MENU ボタンを押す

3 使用するシーンモードを選び、OK ボタンを押す

- リストの5番目の［パーティー］から［パノラマアシスト］まで、3ページのメニューがあります。

シーンモード

4 構図を決めて撮影する

シーンモードの種類と特長

パーティー

パーティー会場などでの撮影に使います。キャンドルライトなどの背景を活かして、雰囲気のある画像に仕上げます。
- 画面中央にピントが合います。
- 暗い場所では手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。
- フラッシュモードが赤目軽減スローシンクロ、発光禁止、またはスローシンクロで、シャッタースピードが低速の場合、自動的に電子式手ブレ補正が働きます（104）。

	※1		OFF※2		OFF		オート

※1　赤目軽減スローシンクロに切り換わる場合があります。変更可能です。
※2　変更可能です。

海・雪

晴天の海や砂浜、雪景色などを明るく鮮やかに撮影したいときに使います。
- 画面中央にピントが合います。

	AUTO※1		OFF※1		OFF		オート

※1　変更可能です。

夕焼け

赤い夕焼けや朝焼けの撮影に使います。
- 画面中央にピントが合います。

	※1		OFF※1		OFF		オート

※1　変更可能です。

トワイライト

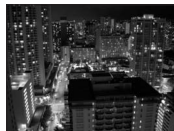
NR

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中での風景撮影に使います。
- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（26）が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。

			OFF※1		OFF		OFF

※1　変更可能です。

夜景

夜景の撮影に使います。スローシャッターで夜景の雰囲気を表現します。
- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（26）が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。

			OFF※1		OFF		OFF

※1　変更可能です。

クローズアップ

草花や昆虫、小さな被写体などの接写（近接撮影）に使います。
- レンズ前約 4 cm の被写体にピントが合わせることができます。マークが緑色で表示される範囲内で、ズーム操作ができます。
- シャッターボタンの半押しでピントが固定されるまで、カメラは常に画面中央にピントを合わせ続けます。
- 撮影方法はマクロモード（33）と同じです。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。

	AUTO※1		OFF※1		ON		オート

※1　変更可能です。

ミュージアム

フラッシュ撮影が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で撮影するときに使います。
- 画面中央にピントが合います。

- ［BSS］（102）が自動的に［ON］になります。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。

			OFF※1		OFF※1		OFF

※1　変更可能です。

三脚などのご使用をおすすめします。

NR　自動的にノイズ低減が行われるため、画像の記録時間が通常より長くなります。

打ち上げ花火

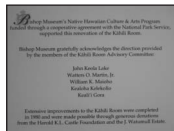
スローシャッターで、打ち上げ花火をきれいに撮影できます。

- 遠景にピントが固定されます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（26）が点灯します。ただし、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- ［露出補正］は設定できません。

⚡	⊘	⏱	OFF	🌷	OFF	±	OFF

モノクロコピー

ホワイトボードや印刷物などの文字を、シャープに撮影したいときに使います。

- 画面中央にピントが合います。
- 近くのものを撮影するときは、マクロモード（33）を併用してください。
- 赤色、青色などの被写体を撮影すると、文字などが薄くなることがあります。

⚡	⊘※1	⏱	OFF※1	🌷	OFF※1	±	オート

※1　変更可能です。

逆光

逆光状態での撮影に使います。内蔵フラッシュが常に発光し、人物が影にならず美しく撮影できます。

- 画面中央にピントが合います。

⚡	⚡	⏱	OFF※1	🌷	OFF	±	オート

※1　変更可能です。

パノラマアシスト（45）

撮影した複数の画像をつなげて、パノラマ写真に合成したいときに使います。撮影した画像は、付属のソフトウェア「PictureProject」を使ってパソコンでパノラマ写真に合成できます。

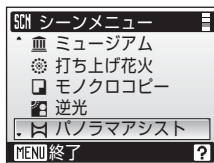
フラッシュ	⊛※1	セルフタイマー	OFF※1	マクロ	OFF※1	露出補正	オート

※1　変更可能です。

パノラマアシストを使った撮影方法

画面中央にピントが合います。三脚を使うと、構図を合わせやすくなります。

1 ロータリーマルチセレクターでシーンメニューから［パノラマアシスト］を選び、OK ボタンを押す

- パノラマ方向（画像をつなげる方向）を示す▷マークが黄色で表示されます。

2 パノラマ方向を選び、OK ボタンを押す

- 右方向につなげる場合は ▷、左方向は ◁、上方向は △、下方向は ▽ を選びます。
- 選んだ方向に▷マークが移動し、OK ボタンを押すと白色に変わります。
- フラッシュモード（30）、セルフタイマー（32）、マクロモード（33）を設定したい場合は、ここで設定してください。
- ▶ を押すと、パノラマ方向を選び直せます。

3 一番端の被写体に構図を合わせ、1コマ目を撮影する

- 画面の 1/3 に、撮影した画像が半透明に表示されます。

4　2コマ目以降を撮影する

- 次の被写体の左 1/3 が前の絵柄に重なるように構図を合わせて、シャッターボタンを押してください。
- この手順を繰り返して、必要な画像を撮影してください。

5　必要な画像を撮影し終わったら、ロータリーマルチセレクターの▶ を押す

- 手順2の状態に戻ります。

パノラマアシストについてのご注意

フラッシュモード（30）、セルフタイマー（32）、マクロモード（33）は、1コマ目を撮影する前に設定してください。2コマ目以降はすべて同じ設定で撮影されます。撮影開始後に設定の変更はできません。画像モード（95）の変更やズーム操作、画像の削除もできません。

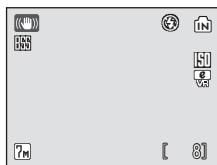
AE-Lについて

パノラマアシストモードでは、1コマ目を撮影すると、画面にAE-L（白色）と表示されます。これは、露出とホワイトバランスがロック（固定）されたことを示しています。これによってパノラマ写真を構成するすべての画像を、同じ露出とホワイトバランスで撮影できます。

ブレ軽減モードで撮影する

ブレ軽減モードでは、以下のような撮影ができます。
- 手ブレ、被写体ブレの影響を軽減し、鮮明な画像を撮影できます。
- 手ブレによる画像の乱れを効果的に補正する［電子式手ブレ補正］(104) と、［BSS］（ベストショットセレクター：最大10コマを連写し、最も鮮明な1コマをカメラが自動的に選んで記録する機能）(102) が自動的に［ON］になります。
- ISO感度が高めに設定され、（オート撮影）モードよりシャッタースピードが速くなります。
- フラッシュは発光禁止になり、セルフタイマーは［OFF］に固定されます。

1 撮影時に（）（ブレ軽減）ボタンを押す
- 撮影モードがブレ軽減モードになります。もう一度押すと、モードメニューで選んでいる撮影モードに戻ります。

2 構図を決めて撮影する
- 撮影中にカメラが手ブレを検出すると、撮影後、自動的に電子式手ブレ補正が働いて手ブレ補正されます。
- 補正処理が終了すると、処理後の画像が記録されます。画像を再生すると（手ブレ補正済み）マークが表示されます (6)。

ブレ軽減モードのご注意
- 被写体が暗い場合、シャッタースピードは一定値に制限されます。
- 暗い場面を撮影する場合は、高感度モード (34) を使用することをおすすめします。
- 撮影した画像が多少ざらつく場合があります。
- ［デート写し込み］(119) を設定していても、日時は写し込まれません。

ブレ軽減モードでの画像モード・露出補正設定
ブレ軽減モードでMENUボタンを押すと、ブレ軽減メニューが表示され、［画像モード］(95)、［露出補正］(99) を設定できます。露出補正の設定は、他のモードに切り換えるとリセットされます。

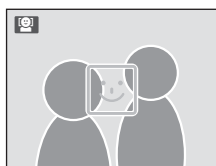
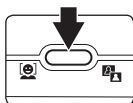
フェイスクリアーモードで撮影する

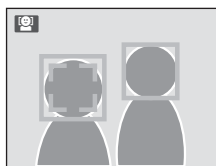
（オート撮影）モード、高感度モード、シーンモード、動画モード、ブレ軽減モードのときにボタンを押すと、人物撮影に適した「フェイスクリアーモード」になります。フェイスクリアーモードでは以下のような撮影ができます。

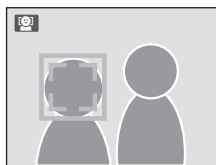
- 人物を浮き立たせて立体感のある画像になります。
- 人物の顔に自動的にピントを合わせる「顔認識 AF」と、フラッシュによる赤目現象を軽減する「アドバンスト赤目軽減」（31）が自動的にONになります（変更可能）。マクロモードは使えません。

もう一度ボタンを押すと、モードメニューで選んでいる撮影モードに戻ります。

1 ボタンを押す

- 黄色の マークが点滅表示されます。

2 マークの大きさを目安に、人物の顔をとらえる

- カメラが顔を認識すると、マークが黄色の二重枠に変わります。
- 複数の顔を認識した場合は、最も近くにいる人の顔が二重枠で、他の顔が一重枠で示されます。この場合、二重枠で囲まれた人の顔にピントと露出が合います。途中で被写体が横を向くなどしてカメラが被写体を見失った場合は、枠が消えて手順1の状態に戻ります。

3 シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が固定され、二重枠が緑色に変わります。

4 そのままシャッターボタンを全押しして撮影する

フェイスクリアーメニュー

フェイスクリアーモードでMENUボタンを押すと、フェイスクリアーメニューが表示されます。画像モードや露出補正の他、肌の色合いや質感が表現できる［ポートレート効果］を設定できます。

画像モード※1

画像モードを変更できます（95）。

露出補正※2

露出補正を変更できます（99）。

ポートレート効果※1

人物の肌の質感や画像全体の雰囲気をどのように表現するかを、［標準］、［明るめ］、［ソフト］の3種類から選べます。［明るめ］にすると人物の肌の透明感を強調した画像になり、［ソフト］にすると全体の雰囲気がソフトな画像になります。

※1 設定内容は、セットアップメニューの［設定クリアー］（125）を行うまで保持されます。

※2 設定内容は、他の撮影モードに切り換えるとリセットされます。

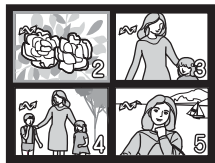
顔認識AFについてのご注意

- どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどの撮影条件によって異なります。
- カメラは人物の顔を認識するまでピント合わせを繰り返します。
- 二重枠が黄色点滅している場合は、顔にピントが合っていません。もう一度ピントを合わせてください。
- 顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。
- 次のような場合、カメラは人物の顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている。
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている。

フェイスクリアーモードで使用できる設定

- フラッシュモードは他のモードに変更できます。
- セルフタイマーが設定できます。マクロモードは使えません。
- フェイスクリアーメニューの設定を変更できます。

複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示モード）

1コマ再生モード（28）でズームレバーを**W**（）方向に倒すと、画像を一覧できる「サムネイル表示モード」になります。サムネイル表示モードでは、以下の操作ができます。

機能	ボタン	内容	
画像を選ぶ		ロータリーマルチセレクターで画像を選びます。	10
表示コマ数を変更する	W T	1コマ表示のときにズームレバーを**W**（）方向に倒すと、次のように一覧表示されます。 4コマ→9コマ→16コマ（S8）／ 4コマ→9コマ→16コマ→25コマ（S7） **T**（Q）方向に倒すと、逆に表示コマ数が減っていきます。	–
1コマ再生モードに切り換える	OK	OKボタンを押すと、1コマ再生モードに戻ります。	28
暗い部分を明るく補正する（D-ライティング）	（）	撮影した画像の暗い部分を明るく補正します。	54
画像を削除する		画像を選び、ボタンを押すと削除確認画面が表示されます。［はい］を選んでOKボタンを押すと、画像が削除されます。	28
再生メニューを表示する	MENU	MENUボタンを押すと、再生メニューが表示されます。	106
再生モードメニューを表示する	m	**m**ボタンを押すと再生モードメニューが表示されます。	8
撮影のモードに切り換える		ボタンを押すと、直前の撮影モードになります。	28

画像を拡大する

1コマ再生モード（28）でズームレバーを**T**（Q）方向に倒すと、表示中の画像の中央部が約3倍に拡大表示されます（クイック拡大モード）。
画面右下のガイドは、どの部分が表示されているか示しています。ロータリーマルチセレクターの▲▼◀▶ を押して表示される部分を切り換えられます。

クイック拡大モードでさらにズームレバーを操作すると、拡大率を自由に変更できる「拡大表示モード」になります。拡大率は画面に表示されます。拡大表示モードでは、以下の操作ができます。

機能	ボタン	内容	
拡大倍率を上げる	**T**（Q）	**T**（Q）方向に倒すごとに、表示中の画像を最大約10倍まで拡大して表示できます。	–
拡大倍率を下げる	**W**（⊞）	拡大表示中に**W**（⊞）方向に倒すと、拡大倍率が下がります。倍率が1倍になると、1コマ再生モードに戻ります。	–
画像の他の部分を表示する	OK	ロータリーマルチセレクターの▲▼◀▶を押して、画像をスクロールします。	10
トリミング画像を作成する		拡大表示した部分だけ、別画像として保存します。	53
1コマ再生モードに切り換える	OK	OKボタンを押すと、1コマ再生モードに戻ります。	28
画像を削除する	🗑	🗑ボタンを押すと削除確認画面が表示されます。［はい］を選んでOKボタンを押すと、表示中の画像が削除されます。	28
再生メニューを表示する	MENU	MENUボタンを押すと、再生メニューが表示されます。	106
再生モードメニューを表示する	m	mボタンを押すと再生モードメニューが表示されます。	8
撮影のモードに切り換える	📷▶	📷▶ボタンを押すと、直前の撮影モードになります。	28

縦位置画像の拡大表示についてのご注意

縦位置の画像（122）は、クイック拡大モードや拡大表示モードでは、回転表示されません。1コマ再生モードでズームレバーを**T**（Q）方向に1回倒すと横位置表示に切り換り、もう一度**T**（Q）方向に倒すと、横位置表示のままクイック拡大モードになります。

画像を編集する

このカメラでは以下の画像編集が簡単に行えます。編集した画像は元画像とは別の画像として、異なるファイル名で保存されます（129）。

編集の種類	内容	使用目的
トリミング	画像の一部を切り出す	被写体をクローズアップしたいとき、構図に手を加えたいとき、など
D-ライティング	画像の暗い部分を明るく補正する	逆光やフラッシュの光量不足で暗くなった部分を明るく補正したいとき
電子式手ブレ補正	手ブレした画像を補正する	手ブレによる画像の乱れを補正して鮮明な画像にしたいとき
スモールピクチャー	小さいサイズの画像を作成する	メールに添付して送信する場合など、画像のサイズを小さくしたいとき

画像編集を適用する際のご注意

- COOLPIX S7/COOLPIX S8以外で撮影された画像は、COOLPIX S7/COOLPIX S8で再生、編集できない場合があります。
- COOLPIX S7/COOLPIX S8で編集した画像を、COOLPIX S7/COOLPIX S8以外のデジタルカメラで再生すると、正常に表示できない場合やパソコンへの転送ができない場合があります。
- 内蔵メモリー／SDカードに充分な空き容量がない場合、編集できません。

画像編集の制限

	2回目の編集			
1回目の編集	トリミング	D-ライティング	電子式手ブレ補正	スモールピクチャー
トリミング	×	×	×	×
D-ライティング	○	×	○	○
電子式手ブレ補正※	○	○	×	○
スモールピクチャー	×	×	×	×

※ブレ軽減モードで撮影した画像を含む

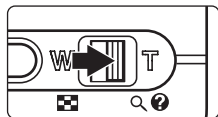
- 同じ画像編集を2回行うことはできません。
- D-ライティング、電子式手ブレ補正、トリミング、スモールピクチャーを組み合わせて編集する場合は、D-ライティングまたは電子式手ブレ補正を先に行ってください。

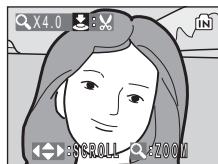
元画像と編集画像の関係について

- 編集で作成した画像は、元画像を削除しても削除されません。また編集で作成した画像を削除しても、元画像は削除されません。
- 編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。
- ［プリント指定］（91）を行ったり、［プロテクト設定］（109）された画像を編集しても、これらの設定内容は編集先の画像には反映されません。ただし、［転送マーク設定］（110）がONの画像を編集したときは、編集先の画像にも設定が反映され［転送マーク設定］がONになります。

画像の一部を切り抜く（トリミング）

拡大表示（🅐51）中に♨:✂マークが表示されている画像は、液晶モニターに表示している部分だけにトリミング（切り抜き）できます。トリミングした画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

1 1コマ再生モードで**T**（Q）方向に倒して画像を拡大表示する

2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節する

- ズームレバーを使って拡大率を調節します。
- ロータリーマルチセレクターの ▲▼◀▶ を押して表示範囲を調整します。

3 シャッターボタンを押す

- 確認画面が表示されます。

4 ロータリーマルチセレクターで［はい］を選び、㊍ボタンを押す

- トリミング画像が作成されます。

- トリミングで作成された画像の画像サイズは、拡大倍率により異なります。次のうちから最適なものをカメラが自動的に選びます（単位：ピクセル）。

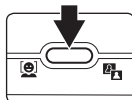
・5M 2592×1944	・4M 2288×1712	・3M 2048×1536
・2M 1600×1200	・1M 1280×960	・PC 1024×768
・TV 640×480	・320×240	・160×120

再生機能を使いこなす

画像の暗い部分を明るく補正する（D-ライティング）

逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を、明るく補正できます。D-ライティング後、元の画像とは別の画像として保存されます。

1 1コマ再生モード（28）、サムネイル表示モード（50）で画像を選び、（）ボタンを押す

- 補正前（左側）と補正後（右側）の見本が表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで［実行］を選び、OKボタンを押す

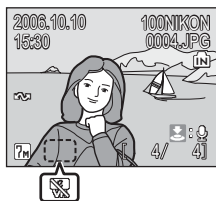
- 補正画像が作成されます。
- D-ライティングを中止するときは、［キャンセル］を選び、OKボタンを押します。

- D-ライティングを行った画像は、再生画面でが表示されます。

画像の手ブレを補正する（電子式手ブレ補正）

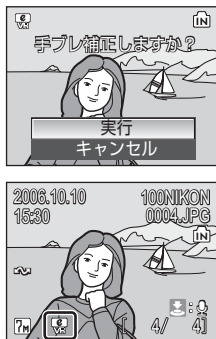
手ブレによる画像の乱れを効果的に補正します。手ブレ補正後、元の画像とは別の画像として保存されます。

1 1コマ再生モード（28）で画像を選ぶ

- が表示された画像は手ブレ補正できません。

2 （(((手)))）（電子式手ブレ補正）ボタンを押す

3 ロータリーマルチセレクターで［実行］を選び、ボタンを押す

- 補正画像が作成されます。
- 手ブレ補正を中止するときは、［キャンセル］を選び、ボタンを押します。

- 手ブレ補正を行った画像は、再生画面でが表示されます。

電子式手ブレ補正についてのご注意

「画像編集の制限」（52）で示した以外に、以下の画像に対して電子式手ブレ補正はできません。

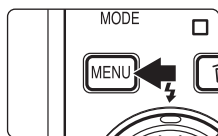
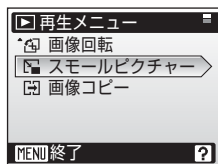
- マルチ連写で撮影された画像（100）
- デート写し込み画像（119）
- このカメラ以外で撮影された画像
- 手ブレが大きい画像、および手ブレが小さすぎる画像
- 低速シャッタースピードで撮影された画像

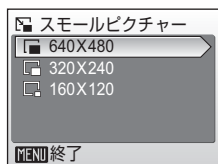
サイズの小さい画像に編集する（スモールピクチャー）

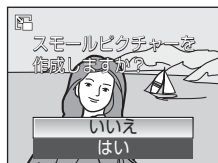
撮影した画像から、サイズの小さい画像を新しく作ります。作成するスモールピクチャーの大きさは以下の3種類から選べます。スモールピクチャーは、元の画像とは別の画像（圧縮率約1/16）として保存されます。

640×480	テレビでの表示に適しています。
320×240	ホームページでの使用に適しています。
160×120	電子メールへの添付に適しています。

1 1コマ再生モード（28）、サムネイル表示モード（50）で画像を選び、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで［スモールピクチャー］を選び、Ⓚボタンを押す

3 スモールピクチャーのサイズを選び、Ⓚ ボタンを押す

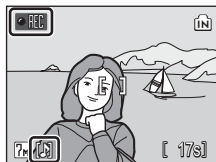
- 確認画面が表示されます。
- 作成をやめるときは、MENUボタンを押します。

4 ［はい］を選び、Ⓚボタンを押す

- スモールピクチャーが作成されます。

画像に音声メモを付ける

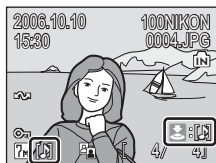
1コマ再生モード（28）で：マーク（音声メモ録音ガイド）が表示されている画像に、カメラのマイクを使って音声によるメモが付けられます。

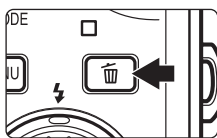
音声メモを録音するには

シャッターボタンを全押ししている間､約20秒まで音声メモが録音できます。
シャッターボタンから指を離すか、約20秒経過すると録音が終了します。

- 録音中は、カメラのマイクに触れないようご注意ください。
- 録音中は REC と[♪]が点滅します。

音声メモを再生するには

音声メモ付き画像を1コマ再生して、シャッターボタンを全押しすると音声メモが再生されます。再生が終わるか、もう一度シャッターボタンを全押しすると再生が終了します。

- 音声メモ付きの画像には、：[♪]（音声メモ再生ガイド）と[♪]が表示されます。
- 再生中、ズームレバーで音量を調整します。**T**（Q）方向に倒すと音量が大きくなり、**W**（）方向に倒すと小さくなります。

音声メモを削除するには

音声メモ付き画像を選んで ボタンを押します。ロータリーマルチセレクターで［[♪]］を選んで ボタンを押すと、音声メモだけが削除されます。

音声メモについてのご注意

- 音声メモのファイル名は、音声メモを録音した画像と同じファイル名に、音声メモであることを示す拡張子「.WAV」がつきます（例：DSCN0015.WAV）（129）。
- すでに音声メモが録音されている画像には、音声メモを録音できません。いったん音声メモだけを削除してから、もう一度音声メモを録音してください。

特定の日付の画像を選ぶ

撮影した日付を選んで画像を表示します。同じ日付の画像をまとめて削除したり、プリント指定やプロテクトの設定など各種設定を一度に行えます。
日付はカレンダーモードまたは撮影日一覧モードで指定します。

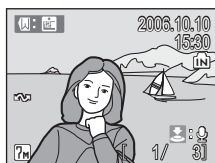
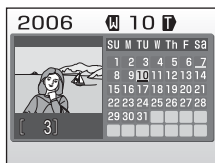
カレンダーモードで日付を選ぶ

1 再生時に m ボタンを押してモードメニューを表示し、ロータリーマルチセレクターで 📅 を選び、Ⓚ ボタンを押す

2 日付を選び、Ⓚ ボタンを押す

- 撮影画像のある日付に黄色の下線が表示されます。黄色の下線がついている日付を選びます。
- ズームレバーを **W**（▦）方向に倒すと前の月、**T**（🔍）方向に倒すと次の月のカレンダーが表示されます。

- 選んだ日に、最初に撮影された画像が 1 コマ表示されます。
- 1コマ表示の状態でズームレバーを **W**（▦）方向に倒すと、カレンダーに戻ります。

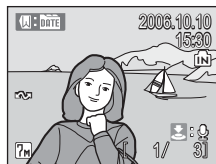
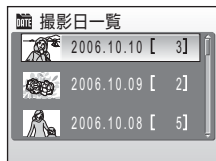
再生機能を使いこなす

撮影日一覧モードで日付を選ぶ

1 再生時に m ボタンを押してモードメニューを表示し、ロータリーマルチセレクターで DATE を選び、OK ボタンを押す

- 撮影画像のある日付が撮影日として一覧表示されます。

2 日付を選び、OK ボタンを押す

- 表示される撮影日は最大30日までです。撮影日が30日以上ある場合は、最新の29日分の撮影日と［過去画像］という項目が表示されます。［過去画像］日付別に表示される29日以外の画像がすべてまとめられています。

- 選んだ日に、最初に撮影された画像が1コマ表示されます。
- 1コマ表示の状態でズームレバーを **W**（▦）方向に倒すと、撮影日一覧に戻ります。

カレンダーモード／撮影日一覧モードの操作

機能	ボタン	内容	👁
日付を選ぶ	(ロータリーマルチセレクター)	ロータリーマルチセレクターで日付を選びます。	–
月を選ぶ（カレンダーモードのみ）	W T	W（⊞）方向に倒すと前の月、T（Q）方向に倒すと次の月のカレンダーが表示されます。	–
1コマ再生モードにする	OK	OKボタンを押すと、選んだ日付内で1コマ表示されます。	–
画像を削除する	🗑	日付を選び、🗑ボタンを押すと削除確認画面が表示されます。[はい] を選んでOKボタンを押すと、その日付の画像がすべて削除されます。	28
カレンダーモード／撮影日一覧モードメニューを表示する	MENU	MENUボタンを押すとカレンダーモード／撮影日一覧モードメニューが表示されます。	62
再生モードメニューを表示する	m	mボタンを押すと再生モードメニューが表示されます。	8
撮影モードに切り換える	📷▶	📷▶ボタンを押すと、直前の撮影モードになります。	28

カレンダーモード／撮影日一覧モードについてのご注意

- カレンダーモードと撮影日一覧モードで認識できる画像は、9000 コマまでです。9000 コマを超える画像がある場合は、カレンダーや撮影日一覧のコマ数の横に「＊」マークが表示されます。＊マークの日付には、実際にはそれ以上の画像が含まれていることを示しています。
- 日時を設定せずに撮影した画像は、表示されません。

1コマ表示のときの操作

機能	ボタン	内容	
次の画像を見る／前の画像を見る		ロータリーマルチセレクターで前後の画像を表示します。	28
画像を拡大する	T（Q）	クイック拡大後、最大10倍までの倍率に切り換えます。	51
カレンダー表示／撮影日一覧表示に切り換える	W（ ）	1コマ表示する前のカレンダーモードまたは撮影日一覧モードになります。	–
音声メモを録音／再生する		最大20秒の音声を録音／再生します。	57
暗い部分を明るく補正する（D-ライティング）	（ ）	撮影した画像の暗い部分を明るく補正します。	54
手ブレを補正する	OK	静止画を表示しているときOKボタンを押すと、手ブレを補正します。	55
動画を再生する	OK	動画を表示しているときOKボタンを押すと、動画を再生します。	74
画像を削除する		画像を選び、 ボタンを押すと削除確認画面が表示されます。［はい］を選んでOKボタンを押すと、画像が削除されます。	28
カレンダーモード／撮影日一覧モードメニューを表示する	MENU	MENUボタンを押すと、カレンダーモード／撮影日一覧モードメニューが表示されます。	62
再生モードメニューを表示する	m	mボタンを押すと、再生モードメニューが表示されます。	8
撮影モードに切り換える		ボタンを押すと、直前の撮影モードになります。	28

カレンダーモード／撮影日一覧モードメニュー

カレンダーモード／撮影日一覧モードでMENUボタンを押すと、選んだ日付の画像だけを対象とする以下のメニューが表示されます。

プリント指定	91
スライドショー	108
削除	109
プロテクト設定	109
転送マーク設定	110
画像回転※	110
スモールピクチャー※	56

※1コマ表示時のみ

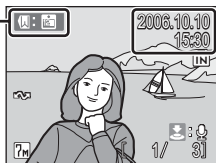
カレンダー表示／撮影日一覧表示と1コマ表示では、対象となる画像が異なります。

- カレンダー表示／撮影日一覧表示では、選んだ日付の画像がすべて対象となります。
- 1コマ表示では、表示中の画像を含む同じ日付の画像すべてが対象となりますが、後で個別に対象とするかどうか設定できます。

［プリント指定］［転送マーク設定］についてのご注意

カレンダーモード／撮影日一覧モードで［プリント指定］や［転送マーク設定］を行う場合、指定した日付以外にプリント指定または転送マーク設定がすでに設定されていると、［選択日以外のプリント指定（または転送マーク指定）を残しますか？］という確認画面が表示されます。［はい］を選ぶと、今回指定した内容が追加されて設定されます。［いいえ］を選ぶと、すでに設定されている内容が削除され、今回の指定が新規に設定されます。

カレンダーモード／撮影日一覧モードの1コマ表示画面について

カレンダーモードと撮影日一覧モードの1コマ表示画面は、通常の1コマ再生画面と、撮影日時の表示位置が異なります。フォルダ名とファイル名は表示されません。

Pictmotionを楽しむ

撮影した画像をつなげ、BGMや画像効果を選んで再生する「Pictmotion※（ピクトモーション）」を楽しむことができます。
この機能は、カメラにSDカードが入っていないときは使えません。

※Pictmotionはmuvee Technologies社の技術によるものです。

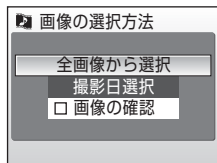
Pictmotionを作る

ここでは、最も簡単な方法でPictmotionを作る方法を紹介します。

1 再生時に m ボタンを押してモードメニューを表示し、ロータリーマルチセレクターで を選び、OK ボタンを押す

2 ［（新規作成）］を選び、OK ボタンを押す

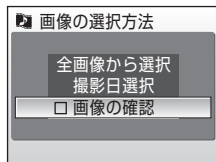
3 ［全画像から選択］を選び、OK ボタンを押す

- 自動的に最新の画像 10 コマ（初期設定）を使って、Pictmotionが作成されます。
- Pictmotionが自動再生された後、保存確認画面が表示されます。

4 ［はい］を選び、OK ボタンを押す

- Pictmotionが保存され、手順2の画面に戻ります。
- 一度保存したPictmotionの［設定変更］はできません。保存したPictmotionの設定を変更したい場合は、保存したPictmotionを削除して、もう一度最初から作り直してしてください。

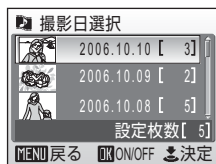
画像を自分で選ぶには

1 「Pictmotionを作る」の手順3（63）[画像の選択方法] 画面でロータリーマルチセレクターで [画像の確認] を選び、ⓚボタンを押す

- 画像の確認チェックボックスに、チェックマークが付きます。

2 [全画像から選択] または [撮影日選択] を選び、ⓚボタンを押す

- [全画像から選択] →手順4へ
  [撮影日選択] →手順3へ

3 撮影日を選び、シャッターボタンを押す

- 撮影日を選び、ⓚを押してチェックマークを付けます。

4 画像を選び、シャッターボタンを押す

- 手順2で [全画像から選択] を選ぶと、すべての画像が表示されます。[撮影日選択] を選ぶと、手順3で選んだ撮影日の画像だけが表示されます。
- 画像を選び、ⓚボタンを押して選択(チェックマークあり)／選択解除（チェックマークなし）を切り換えます。画像は30コマまで選べます。
- ズームレバーを**T**（Q）方向に倒すと1コマ表示に切り換り、**W**（▦）方向に倒すと元に戻ります。
- Pictmotionが自動再生された後、保存確認画面が表示されます。

[撮影日選択] の場合

5 [はい] を選び、ⓚボタンを押す

- Pictmotionが保存されます。

再生機能を使いこなす

Pictmotionについてのご注意

- 動画を含んだPictmotionも作れますが、動画は一部だけが再生されます。60秒を超える動画は、最初の60秒の一部だけが再生されます。
- Pictmotionは1枚のSDカードに20個まで保存できます。すでに20個のPictmotionが保存されている場合、Pictmotionの新規作成はできません。
- Pictmotionに使った画像は、自動的にプロテクト設定（109）されます。

PictureProjectとの連携について（Windowsのみ）

付属のソフトウェアPictureProjectを使うと、カメラで作成したPictmotionをパソコンに転送して再生できます。また、Pictmotionで使用するBGMをパソコンからカメラ内のSDカードに追加もできます（1曲3分まで、最大5曲）。詳しくはPictureProjectの使用説明書をご覧ください。

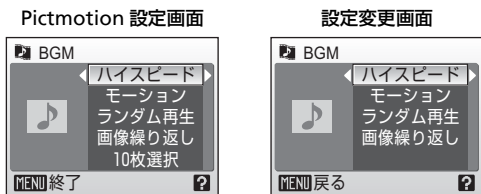
Pictmotionを削除するには

Pictmotionを削除するには、「Pictmotionを作る」の手順2（63）で削除したいPictmotionを選び、ボタンを押してください。Pictmotionを削除しても、元の画像のプロテクト設定（109）は解除されません。

Pictmotionを設定する

「Pictmotion を作る」手順2（➡63）Pictmotion 画面で MENU ボタンを押すとPictmotion設定画面が、手順4（➡63）保存確認画面で［設定変更］を選ぶと設定変更画面が表示されます。以下の項目を設定できます。

Pictmotion 設定画面

設定変更画面

PictmotionのBGMを選ぶ

ハイスピード（初期設定）→エモーショナル→ナチュラル→アップテンポ→リラックス→ユーザー音楽1～5から選びます。

- ズームレバーを**T**（Q）方向に倒すと、BGMを試聴できます。ユーザー音楽は試聴できません。
- ユーザー音楽1～5に、パソコンから音楽を転送して追加できます。ユーザー音楽1～5は、パソコンから転送された場合のみ表示されます。

画像効果を選ぶ

モーション→ムーディー→スロー→ファースト→セピアから選びます。

- ズームレバーを**T**（Q）方向に倒すと、画面の左側にスタイルの見本が表示されます。

画像が再生される順序を選ぶ

ランダム再生	カメラが再生順を自動的に決めます。
通常再生	撮影した順番に再生されます。

音楽繰り返し／画像繰り返しを設定する

音楽繰り返し	すべての画像が表示されるように、BGMの再生回数（＝Pictmotionの長さ）が決まります。
画像繰り返し	BGM1回分の長さに合わせてPictmotionの長さが決まります。すべての画像が再生されない場合があります。

- どちらの設定でも、BGM の長さに合わせて、同じ画像が繰り返し表示される場合があります。

何コマの画像をPictmotionに使うかを選ぶ

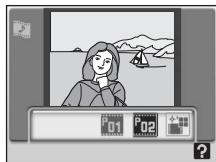
※Pictmotion設定画面で設定できます。設定変更画面では設定できません。

10枚選択→20枚選択→30枚選択→自動選択なし、から選びます。
たとえば[20コマ]を選ぶと、最後に撮影した画像から順に20コマがPictmotionに使う画像として指定されます。ただし、「画像を自分で選ぶには」（➡64）の手順1で［画像の確認］チェックボックスにチェックマークを付けた場合は、手順4でコマ数を変更できます。

再生機能を使いこなす

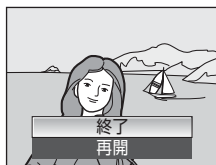
Pictmotionを再生する

1 再生時に m ボタンを押してモードメニューを表示し、ロータリーマルチセレクターで ♪ を選び、OK ボタンを押す

2 作成したPictmotionを選び、OK ボタンを押す

3 ［再生］を選び、OK ボタンを押す

- 再生が始まります。
- 繰り返し再生するには、［エンドレス］を選んで OK ボタンを押し、チェックボックスにチェックマークを付けてください。
- 再生中はズームレバーで音量を調節できます。
- 再生中、OK ボタンを押すと、停止します。

4 ［終了］を選び、OK ボタンを押す

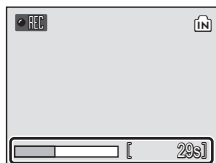
- 手順2の画面に戻ります。
- ［再開］を選んで OK ボタンを押すと、もう一度再生されます。

動画を撮影する

動画（音声付き）を撮影できます。

1 撮影時に m ボタンを押してモードメニューを表示し、ロータリーマルチセレクターで動画アイコンを選び、Ⓚ ボタンを押す

- 液晶モニターに記録できる時間が表示されます。

2 シャッターボタンを押して、撮影を開始する

- 画面下部で、記録できる残り時間の目安を確認できます。
- もう一度シャッターボタンを押すと、撮影が終了します。
- 内蔵メモリーまたは SD カードの残量がなくなると、撮影は自動的に終了します。

動画撮影についてのご注意

- 動画モードでは、セルフタイマー（32）、露出補正（99）は使えません。フラッシュ（30）は、微速度撮影、ストップモーション以外の動画モードでは使えません。マクロモード（33）は動画撮影時も使えます。
- 動画撮影中、電子ズームは2倍まで作動しますが、光学ズームは使えません。光学ズームを使いたい場合は、撮影前に操作してください。撮影を始めると、光学ズームは固定されます。

動画撮影の設定を変更する

動画メニューの［動画設定］、［AF-MODE］、［電子式手ブレ補正］を変更できます（69）。

動画撮影の設定を変更する（動画メニュー）

動画モードで、MENUボタンを押すと、動画メニューが表示されます。

▸🎥	**動画設定**	70
	撮影する動画の種類を設定します。	
AF	AF-MODE	73
	動画撮影時のピント合わせについて設定します。	
eVR	電子式手ブレ補正	73
	動画撮影時の手ブレの影響を軽減する電子式手ブレ補正機能のON/OFFを設定します。	

動画設定

撮影する動画の種類を選びます。

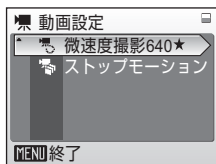
種類	内容	記録可能時間／フレーム数※	
		内蔵メモリー	SDカード
		約14MB	256MB
TV再生640★	動画を画像サイズ640×480ピクセル、30フレーム／秒で撮影します。	12秒	約3分40秒
カメラ再生320★	動画を画像サイズ320×240ピクセル、30フレーム／秒で撮影します。	25秒	約7分20秒
カメラ再生320（初期設定）	動画を画像サイズ320×240ピクセル、15フレーム／秒で撮影します。	49秒	約14分30秒
Pictmotion 320	動画を画像サイズ320×240ピクセル、15フレーム／秒で撮影します。60秒で自動的に撮影が終わるのでPictmotion（63）を利用するときに便利です。	49秒	1分
長時間再生160	動画を画像サイズ160×120ピクセル、15フレーム／秒で撮影します。画像サイズが小さいため、他の動画と比べて、より長時間の撮影が可能となります。	2分44秒	約48分
微速度撮影640★	あらかじめ設定した撮影間隔で、静止画（画像サイズ640×480ピクセル）を自動的に連続撮影してから、その静止画をつなげて動画として記録します。音声は記録されません。再生するときは30フレーム／秒で再生されます。	149フレーム	1800フレーム
ストップモーション	任意の間隔で静止画（画像サイズ640×480ピクセル）を撮影してから、その静止画をつなげて動画として記録します。音声は記録されません。再生するときは15フレーム／秒で再生されます。	149フレーム	1800フレーム

※ 内蔵メモリーまたはSDカードの残量がなくなるまで撮影できます。記載されている記録可能時間／フレーム数はおおよその目安です。同じ容量でもSDカードの種類によって記録可能時間／フレーム数は異なります。

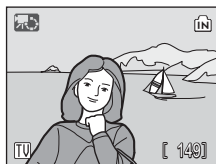
微速度撮影をする

花のつぼみが開く様子を早送りで観察したいときなどに便利です。途中でバッテリーが切れることがないよう、充分に充電したバッテリーをお使いいただくことをおすすめします。

1 ロータリーマルチセレクターで動画メニューから［動画設定］を選び、OKボタンを押す

2 ［微速度撮影640★］を選び、OKボタンを押す

3 撮影間隔を選び、OKボタンを押す

4 MENUボタンを押す

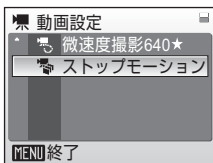
- 撮影画面に戻ります。

5 シャッターボタンを全押しして、撮影を始める

- 撮影の合間、液晶モニターが消灯し、表示ランプが緑色で点滅します。
- 次の撮影時間になると、自動的に液晶モニターが点灯します。

6 もう一度シャッターボタンを全押しして、撮影を終了する

- 内蔵メモリー／SDカードの残量がなくなったときや、最大1800フレーム＝60秒撮影すると、自動的に撮影を終了します。

ストップモーション撮影をする

1 ロータリーマルチセレクターで［動画設定］メニューから［ストップモーション］を選び、Ⓚボタンを押す

2 MENUボタンを押す

- 撮影画面に戻ります。

3 シャッターボタンを押して1フレーム目を撮影する

- 撮影した画像が半透過で表示されます。

4 シャッターボタンを押して2フレーム目を撮影する

- 前回撮影した画像に重なって、今回撮影した画像が半透過で表示されます。
- ストップモーション中はオートパワーオフが30分になり、待機状態になると撮影が終了します。

5 ストップモーションを終了する場合は、Ⓚボタンを押す

- または 1800 フレーム撮影すると、自動的にストップモーションが終了します。

微速度撮影、ストップモーションについてのご注意

途中でバッテリーが切れることがないように、充分に充電したバッテリーをお使いください。

AF-MODE

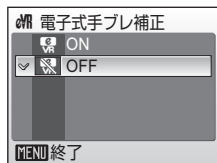
動画撮影時のオートフォーカスの方法を選びます。

種類	内容
シングルAF（初期設定）	シャッターボタンを半押しするとピント合わせを行い、半押ししている間はピントを固定（AFロック）します。撮影中は、そのピントに固定されます。
常時AF	撮影中、常にピント合わせを繰り返します。 撮影中にカメラの動作音が録音されることがあります。動作音が気になる場合は、シングルAFに設定して撮影することをおすすめします。

電子式手ブレ補正

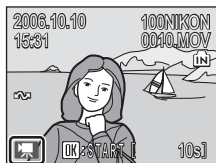
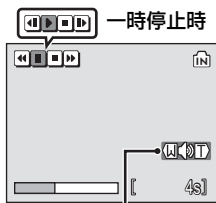
［ON］に設定すると、［微速度撮影640★］と［ストップモーション］以外の動画撮影時に、手ブレの影響を軽減します。

電子式手ブレ補正の設定状況は、撮影時の画面で確認できます（［OFF］のときは、何も表示されません）（6）。

動画を撮影する／再生する

動画のファイル名とフォルダ名について

「記録データのファイル名とフォルダ名」（129）をご覧ください。

動画を再生する

1コマ再生モード（28）で マークが表示されている画像が動画です。ボタンを押すと、再生できます。

動画の再生中は、ズームレバーで音量を調整します。**T**（）方向に倒すと音量が大きくなり、**W**（）方向に倒すと小さくなります。
ロータリーマルチセレクターを回すと2倍速で早送り／巻き戻しできます。
画面上部に操作パネルが表示されますので、ロータリーマルチセレクターの◀▶ を押して操作ボタンを選ぶと、以下の操作ができます。

動画再生中

<table>
<tr><th>機能</th><th>ボタン</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>巻き戻し</td><td></td><td colspan="2">ボタンを押している間、巻き戻します。</td></tr>
<tr><td>早送り</td><td></td><td colspan="2">ボタンを押している間、早送りします。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">一時停止</td><td rowspan="5"></td><td colspan="2">ボタンを押すと、一時停止します。
一時停止中にロータリーマルチセレクターでコマ送り／コマ戻しができます。また、画面上部の操作ボタンで、以下の操作ができます。</td></tr>
<tr><td></td><td>ボタンを押すと、1コマ戻ります。押し続けると、連続してコマ戻しされます。</td></tr>
<tr><td></td><td>ボタンを押すと、1コマ進みます。押し続けると、連続してコマ送りされます。</td></tr>
<tr><td></td><td>ボタンを押すと、再生を再開します。</td></tr>
<tr><td></td><td>ボタンを押すと、1コマ再生モードに戻ります。</td></tr>
<tr><td>再生終了</td><td></td><td colspan="2">ボタンを押すと、1コマ再生モードに戻ります。</td></tr>
</table>

動画ファイルを削除する

動画再生中や、1コマ再生モード（28）、サムネイル表示モード（50）で動画を選んでボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。[はい］を選んでボタンを押すと、動画ファイルが削除されます。キャンセルするときは、[いいえ］を選んでボタンを押します。

音声を録音する

ボイスレコーダーのように、内蔵メモリーやSDカードに音声を録音します。

1 撮影時、m ボタンを押して、モードメニューを表示し、ロータリーマルチセレクターで🎙を選び、Ⓚ ボタンを押す

- 録音可能時間が表示されます。

2 シャッターボタンを全押しして録音を始める

- 録音中は節電機能が働き、液晶モニターは消灯して表示ランプが緑色で点灯します。

3 シャッターボタンを全押しして録音を終える

- 内蔵メモリー／SDカードの残量がなくなったときや、録音開始から5時間経過したときは、自動的に録音が終了します。

録音中の操作

録音中は以下の操作ができます。液晶モニターが消灯している場合は、📷▶ボタンを押すと点灯します。

機能	ボタン	内容
録音を一時停止／再開する	Ⓚ	一時停止中は、セルフタイマーランプと表示ランプが点滅します。
インデックスを付ける	(ロータリーマルチセレクター)	再生時に目的の場所が見つけやすいように、インデックスを付けます。録音開始時のインデックスが1で、その後ロータリーマルチセレクターを押すたびに、連番（最大98）でインデックスが付けられます。
録音を終了する	(シャッターボタン)	録音中にシャッターボタンを全押しすると、録音が終了します。

音質設定を変更するには

音声レコードモードで、MENUボタンを押すと、[音質設定]画面が表示されます。

音質設定

録音時の音質を選びます。

種類	内容	記録可能時間	
		内蔵メモリー	SDカード
		約14MB	256MB
標準	長時間の録音に適しています。	30分36秒	5時間
高（初期設定）	高音質で録音できます。この設定で録音した音声データは、早送り／巻き戻し再生すると、音声が再生されません。	11分5秒	約3時間14分

※ 内蔵メモリーまたはSDカードの残量がなくなるまで録音できます（最大5時間）。記載されている記録可能時間はおおよその目安です。同じ容量でもSDカードの種類によって記録可能時間は異なります。

音声データについてのご注意

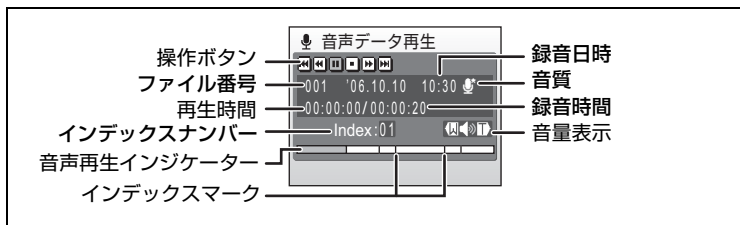
音声レコード機能で録音した音声データは、PictureProjectでパソコンに転送することができません。音声データをパソコンに転送する場合は、セットアップメニューの［インターフェース］→［USB］を［Mass Storage］に設定してパソコンと接続し、パソコン側から操作して音声データをコピーしてください。

パソコンにコピーされた音声データは、QuickTimeなどのソフトウェアで再生できます。パソコンで再生する場合は、カメラで設定したインデックスは機能しません。

音声を再生する

1 再生時にmボタンを押してモードメニューを表示し、ロータリーマルチセレクターで🎙を選び、⒪ボタンを押す

2 再生する音声データを選び、⒪ボタンを押す

- 音声データが再生されます。

再生中の操作

音声の再生中は、ズームレバーで音量を調整します。**T**（Q）方向に倒すと音量が大きくなり、**W**（⊞）方向に倒すと小さくなります。
ロータリーマルチセレクターを回すと2倍速で早送り／巻き戻しできます。
画面上部に操作パネルが表示されますので、ロータリーマルチセレクターの◀▶を押して操作ボタンを選ぶと、以下の操作ができます。

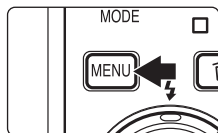
機能	ボタン	内容
巻き戻し	⏪	®ボタンを押している間、巻き戻します。
早送り	⏩	®ボタンを押している間、早送りします。
前のインデックスへ	⏮	®ボタンを押すと、前のインデックスに戻ります。
次のインデックスへ	⏭	®ボタンを押すと、次のインデックスに進みます。
一時停止	⏸ ▶ ⏹	®ボタンを押すと、一時停止します。 一時停止中には、以下の操作ができます。 ®ボタンを押すと、再生を再開します。 ®ボタンを押すと、音声データ選択画面に戻ります。
再生終了	⏹	®ボタンを押すと、音声データ選択画面に戻ります。

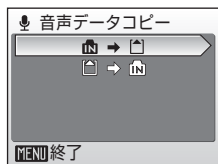
音声データを削除するには

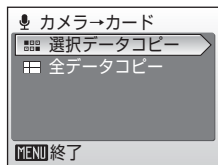
音声の再生中に🗑ボタンを押すか、一覧表示中にロータリーマルチセレクターで削除したい音声データを選んで🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。［はい］を選んで®ボタンを押すと、音声データが削除されます。削除するのをやめるときは、［いいえ］を選んで®ボタンを押します。

音声データをコピーする

内蔵メモリーからSDカードに、またはSDカードから内蔵メモリーに音声データをコピーします。この機能は、カメラにSDカードが入っていないと使うことができません。

1 ［音声データ選択］画面（77 手順2）で、MENUボタンを押す

2 ロータリーマルチセレクターでコピーの方向を選び、OKボタンを押す

IN⇒SD：内蔵メモリーからSDカードへコピー
SD⇒IN：SDカードから内蔵メモリーへコピー

3 コピーの方法を選び、OKボタンを押す

- ［選択データコピー］→手順4
- ［全データコピー］→手順5

4 コピーするデータを選び、OKボタンを押す

- データを選び、▶を押してチェックマークを付けます。
- コピーを確認する画面が表示されます。

5 ［はい］を選び、OKボタンを押す

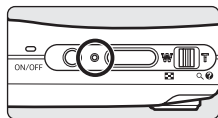
- 音声データがコピーされます。

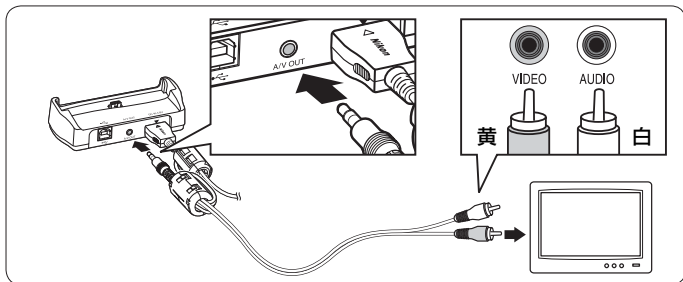
音声データコピーについてのご注意

他社製のカメラで録音した音声データについては、音声データコピー機能の動作は保証しておりません。

テレビに接続する

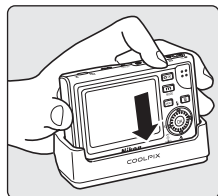
カメラを付属のオーディオビデオケーブル（AVケーブル）でテレビに接続すると、撮影した画像をテレビ画面で再生できます。

1 カメラの電源をOFFにする

2 付属のAVケーブルで、COOL-STATIONとテレビを接続する

- AVケーブルの黄色のプラグをテレビの映像入力端子に、白のプラグを音声入力端子に接続してください。

3 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの使用説明書をご覧ください。

4 カメラをCOOL-STATIONに取り付け、📷▶ボタンを1秒以上押して電源をONにする

- カメラは再生モードになり、撮影した画像がテレビに表示されます。
- テレビとの接続中は、カメラの液晶モニターは消灯したままになります。

ケーブル接続時のご注意

ケーブルを接続するときは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。

画像がテレビに映らないとき

［セットアップ］メニュー（112）→［インターフェース］（124）→［ビデオ出力］がお使いのテレビに合っているか確認してください。

パソコンに接続する

付属のUSBケーブルとPictureProjectソフトウェアを使って、カメラをパソコンに接続すると、撮影した画像をパソコンに転送して保存できます。

カメラとパソコンを接続する前に

PictureProjectをインストールする

カメラとパソコンを接続する前に、付属のPictureProjectソフトウェア（CD-ROM）をパソコンに1度インストールします。PictureProjectのインストール方法については、簡単操作ガイドをご覧ください。

USB通信方式を確認する

カメラからパソコンへ画像を転送するには、2つの方法があります。

- パソコン上のPictureProjectを操作して転送する
- カメラのOK（転送）ボタンを押して転送マーク付き画像を転送する

お使いのパソコンのOS（オペレーティングシステム）および、カメラとパソコンのUSB通信方式の組み合わせによって、転送できる方法が次のように異なります。

<table>
<tr><th rowspan="2">OS</th><th colspan="2">USB通信方式※1</th></tr>
<tr><th>カメラのOKボタンで転送する※2</th><th>PictureProjectの［転送］ボタンで転送する</th></tr>
<tr><td>Windows XP Home Edition
Windows XP Professional</td><td colspan="2">Mass Storage または PTP</td></tr>
<tr><td>Windows 2000 Professional※3</td><td colspan="2">Mass Storage</td></tr>
<tr><td>Mac OS X（10.3.9以降）</td><td>PTP</td><td>Mass Storage
または PTP</td></tr>
</table>

※1 このカメラのUSB通信方式には、［Mass Storage］と［PTP］（初期設定）があります。内蔵メモリーの画像を転送する場合は、［PTP］に設定してください。［Mass Storage］に設定すると、転送できません。

※2 SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」の位置になっている場合、カメラのOK（転送）ボタンは使えません。PictureProjectの［転送］ボタンで転送してください。「Lock」を解除するとカメラのOK（転送）ボタンを使えます。

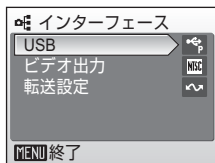
※3 パソコンのOSがWindows 2000 Professionalの場合は、カメラのUSB通信方式を必ず［Mass Storage］に設定してください。USB通信方式を［PTP］にして接続してしまった場合は、パソコンに［新しいハードウェアの検索ウィザードの開始］と表示されますので、［キャンセル（中止）］を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

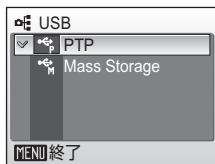
USB通信方式の設定方法

USB通信方式は、パソコンやプリンターと接続する前にカメラのセットアップメニュー（112）で設定します。

1 m ボタンを押してモードメニューを表示し、ロータリーマルチセレクターで を選び、 ボタンを押す

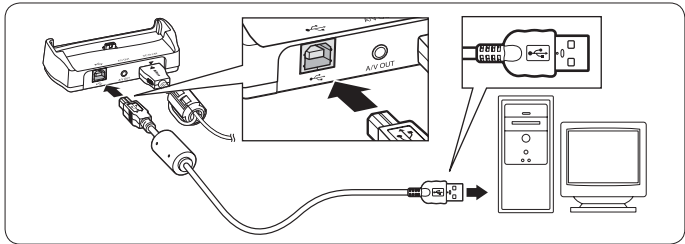
2 ［インターフェース］を選び、 ボタンを押す

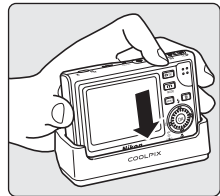
3 ［USB］を選び、 ボタンを押す

4 ［PTP］または［Mass Storage］を選び、 ボタンを押す（81）

- 設定が有効になります。
- MENUボタンを押すと設定を終了します。

カメラからパソコンに画像を転送する

1 PictureProjectがインストールされているパソコンを起動する

2 カメラの電源をOFFにする

3 付属のUSBケーブルで、COOL-STATIONとパソコンを接続する

4 カメラを COOL-STATION に取り付け、電源をONにする

- パソコンで［PictureProject Transfer］が自動的に起動します（PictureProjectの初期設定）。

5 画像を転送する

- **PictureProjectを操作して転送する方法：**
  パソコンを操作して、PictureProject Transferの［転送］ボタンをクリックします。
  記録されているすべての画像がパソコンに転送されます。転送が終了すると、PictureProjectに転送した画像が表示されます。
- **カメラのⓀ（転送）ボタンを押して転送する方法：**
  カメラのⓀ（転送）ボタンを押すと、転送マーク（）（84）の付いている画像がパソコンに転送されます。転送が始まるとカメラの液晶モニターには、次のように表示されます。

6 転送が終わったら、カメラとパソコンの接続を外す

- **USB通信方式が［PTP］の場合**：カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜きます。
- **USB通信方式が［Mass Storage］の場合**：USBケーブルを外したり、カメラの電源をOFFにする前に、必ず次の操作を行ってください。次の操作を行った後は、カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜きます。

Windows XP Home Edition/Windows XP Professionalの場合：

パソコン画面右下の［ハードウェアの安全な取り外し］アイコンをクリックして、［USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）※を安全に取り外します］を選んでください。

Windows 2000 Professionalの場合：

パソコン画面右下の［ハードウェアの安全な取り外しまたは取り出し］アイコンをクリックして、［USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）※を停止します］を選んでください。

※ドライブ（E:）の「E」は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

Mac OS Xの場合：

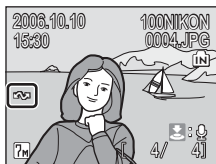
デスクトップ上の［NO_NAME］アイコンをゴミ箱に捨ててください。

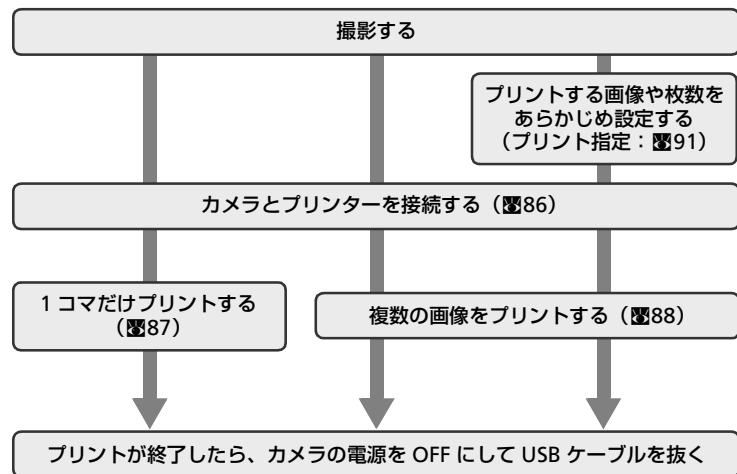
ケーブル接続時のご注意

ケーブルを接続するときは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。

転送マーク（）について

再生時にマークが付いている画像は、パソコンとの接続時にボタンを押すと、パソコンに転送されます。初期設定ではすべての画像に転送マークが付きます。転送マークを付けたり外したりするには、以下の2通りの方法があります。

- セットアップメニューの［インターフェース］→［転送設定］（124）
  ONにすると、これから撮影する画像すべてに、転送マークを付けます（初期設定）。
- 再生メニューの［転送マーク設定］（110）
  撮影済みの画像に、個別に転送マークを付けたり外したりできます。

プリンターに接続する

PictBridge（🔍144）対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます（ダイレクトプリント）。ダイレクトプリントの手順は、以下のとおりです。

電源についてのご注意

テレビやパソコン、プリンターなどと接続するときは、途中でバッテリーが切れることがないように、充分に残量のあるバッテリーまたは付属のACアダプター EH-64をお使いください。

画像のプリント方法について

SDカードに記録した画像は、パソコンに転送したり、カメラをプリンターに接続してプリントする他に次の方法でプリントできます。

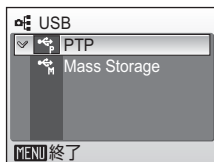
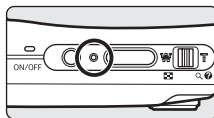
- カードスロットが付いたDPOF対応プリンターでプリントする。
- プリントサービス店にプリントを依頼する。

これらの方法でプリントするときは、プリントする画像やプリント枚数などを、カメラの［プリント指定］メニューを使って、あらかじめSDカードに設定できます（🔍91）。

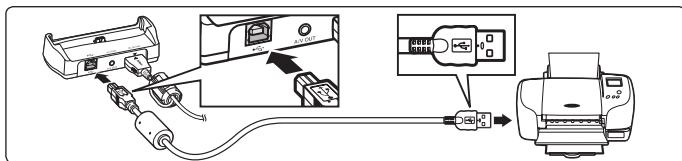
イメージリンク対応プリンターでプリントする

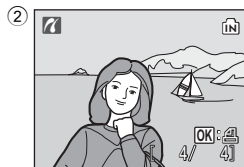
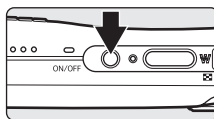
イメージリンク対応プリンターにカメラを直接取り付けてプリントできます。詳しくは、🔍93とプリンターの説明書をご覧ください。

カメラとプリンターを接続する

1 カメラのUSB通信方式（82）を［PTP］に設定する

2 カメラの電源をOFFにする

3 プリンターの電源をONにする

- プリンターの設定を確認してください。

4 付属のUSBケーブルで、COOL-STATIONとプリンターを接続する

5 カメラを COOL-STATION に取り付け、電源をONにする

- 正しく接続されると、カメラの液晶モニターに①の画面が表示された後、撮影した画像（②）が表示されます。

①

②

ケーブル接続時のご注意

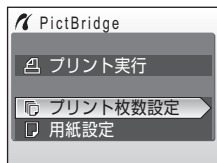
ケーブルを接続するときは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。

1コマだけプリントする

あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから（86）、次の手順でプリントしてください。

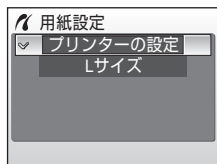
1 プリントしたい画像をロータリーマルチセレクターで選び、ボタンを押す

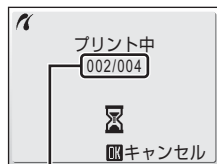
- ［PictBridge］画面が表示されます。
- ズームレバーを**W**（）方向に倒して、6コマ表示に切り換えて画像を選ぶこともできます。**T**（）方向に倒すと、1コマ表示に戻ります。

2 ［プリント枚数設定］を選び、ボタンを押す

3 プリント枚数（9枚まで）を設定し、ボタンを押す

4 ［用紙設定］を選び、ボタンを押す

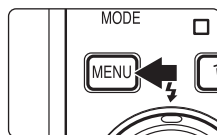
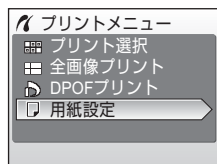
5 用紙サイズを選び、ボタンを押す

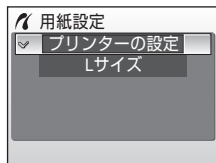
- プリンターの設定を優先したいときは、［プリンターの設定］を選んでボタンを押します。

6 ［プリント実行］を選び、㉇ボタンを押す

7 プリントがはじまる
- プリントが終わると、手順1の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、㉇ボタンを押します。

プリント中の枚数／総枚数

複数の画像をプリントする

あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから（86）、以下の手順でプリントしてください。

1 撮影した画像が表示されているときに、MENU ボタンを押す
- ［プリントメニュー］画面が表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで［用紙設定］を選び、㉇ボタンを押す

3 用紙サイズを選び、Ⓚボタンを押す

- プリンターの設定を優先したいときは、［プリンターの設定］を選んでⓀボタンを押します。

4 ［プリント選択］、［全画像プリント］または［DPOFプリント］を選んで、Ⓚボタンを押す

プリント選択

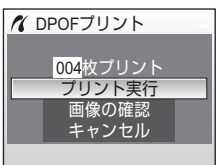
画像を複数選んでプリントできます（手順5に進む）。

全画像プリント

SDカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントできます（手順7に進む）。

DPOFプリント

［プリント指定］（🔍91）であらかじめ指定しておいた画像をプリントできます。

- 右の画面が表示されます。
- ［プリント実行］を選び、Ⓚ ボタンを押すと画像がプリントされます（手順 7 に進む）。
- ［画像の確認］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、プリント指定した画像が確認できます（手順 6 に進む）。

5 プリントする画像と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定する

- 選択中の画像が、中央に大きく表示されます。
- 画像を選び、プリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、🖶マークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、🖶マークが消え、その画像の選択が解除されます。
- 設定が終了したらⓀボタンを押します。

6 画像を確認して、Ⓞボタンを押す

- 画像を選び直したいときは、MENUボタンを押して、前の画面に戻ります。

7 プリントがはじまる

- プリントが終わると、手順2の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、Ⓞボタンを押します。

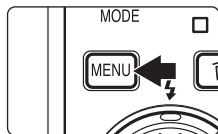
用紙設定について

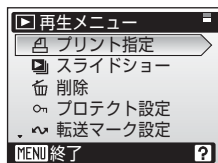
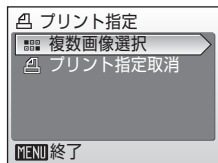
用紙設定画面では、［プリンターの設定］以外に、［Lサイズ］、［2Lサイズ］、［ハガキ］、［100×150 mm］、［4×6 - in］、［8×10 - in］、［Letter］、［A3サイズ］、［A4サイズ］のうち、プリンターが対応している用紙サイズが表示されます。プリンター側の設定を優先したいときは、［プリンターの設定］を選んでください。

SDカードにプリントする画像や枚数を設定する（プリント指定）

DPOF（🔍144）対応のプリンターやプリントサービス店で画像をプリントするときは、どの画像を何枚プリントするかをあらかじめ指定できます。
撮影日や撮影情報（シャッタースピードと絞り値）を画像に入れてプリントすることもできます。
プリント指定で設定した画像の選択やプリント枚数で、カメラをPictBridge対応プリンターに接続してプリントすることもできます。カメラからSDカードを取り外すと、内蔵メモリーに記録した画像にもプリント指定できます。

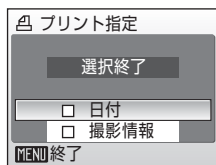
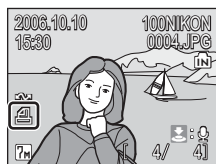
1 再生モードでMENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 ロータリーマルチセレクターで［プリント指定］を選び、OKボタンを押す

- ［プリント指定］画面が表示されます。

3 ［複数画像選択］を選び、OKボタンを押す

4 プリントする画像と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定する

- 選択中の画像が、中央に大きく表示されます。
- ◀▶ を押して画像を選び、▲▼ を押してプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、🖶マークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、🖶マークが消え、その画像の選択が解除されます。
- 設定が終了したらOKボタンを押します。

5 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する

- ［日付］を選んで ⓚ ボタンを押すと、撮影日が印字されます。
- ［撮影情報］を選んで ⓚ ボタンを押すと、すべての画像に撮影情報が印字されます。ただしカメラとプリンターを接続してプリントするときは、［撮影情報］は印字できません。
- ［選択終了］を選んで ⓚ ボタンを押すと、設定が有効になります。

［プリント指定］を行った画像は、再生時の画面で確認できます。

プリント指定についてのご注意

プリント指定を行った後、再び［プリント指定］メニューを表示すると、［日付］と［撮影情報］の設定はリセットされますのでご注意ください。

プリント指定をすべて取り消すには

手順3で［プリント指定取消］を選び ⓚ ボタンを押します。すべての画像に対するプリント指定が取り消されます。

日付のプリントについて

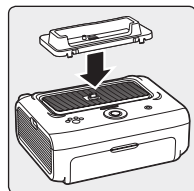
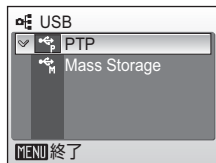
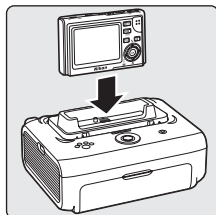
プリントされる日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。撮影後にセットアップメニューの［日時設定］を変更してもプリントされる日付には反映されません。

［デート写し込み］との違いについて

［プリント指定］で設定した日付はDPOF対応（☞144）プリンターでのみプリント可能です（プリント位置はプリンターに依存します）。DPOFに対応していないプリンターで日付をプリントする場合は、セットアップメニューの［デート写し込み］（☞119）をお使いください（プリント位置は固定です）。両方を設定した場合は、DPOF対応プリンターを使用しても［デート写し込み］による日付のみプリントされます。

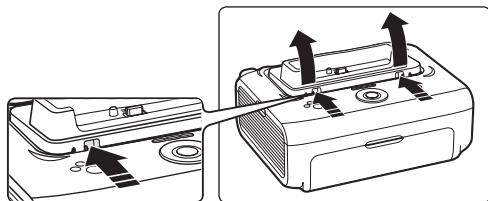
イメージリンク対応のプリンターと接続する

プリンターの操作方法については、プリンターの使用説明書をご覧ください。

1 付属のドックインサートPV-11（COOLPIX S7）／PV-10（COOLPIX S8）をプリンターに取り付ける

2 カメラのUSB通信方式（82）を［PTP］に設定する

3 カメラの電源をOFFにして、ドックインサートに取り付ける

4 プリントする

- プリンターの説明書にしたがってプリントしてください。

ドックインサートを取り外すときは

2ヶ所の印に親指をかけ、押しながら持ち上げてください。

イメージリンク対応プリンター接続時のご注意

カメラをプリンターに接続後、プリンターを操作しない状態が約1分以上続くと、液晶モニターの表示が暗くなります。そのまま7分経過すると、自動的にカメラの電源がOFFになります。

撮影に関する設定—撮影メニュー

撮影メニュー、高感度メニューには、以下の項目があります。

画像モード 95

記録時の画像モード（画像の大きさと圧縮率の組み合わせ）を設定します。

ホワイトバランス※1 97

画像が見た目に近い色で記録されるように、光源に合わせてホワイトバランスを設定します。

露出補正 99

画像全体を明るくしたいときや暗くしたいときに露出の補正値を設定します。

連写※1 100

連写（連続撮影）するかどうかを設定します。

BSS※1 102

ベストショットセレクター（最大10コマを連写し、最も鮮明な1コマをカメラが自動的に選んで記録する機能）を設定します。

ISO感度※2 103

被写体の明るさなどに応じて、ISO感度を設定します。

ピクチャーカラー※1 103

撮影する画像の色調について設定します。

AFエリア選択 104

画面のどの位置でピントが合うかを設定します。

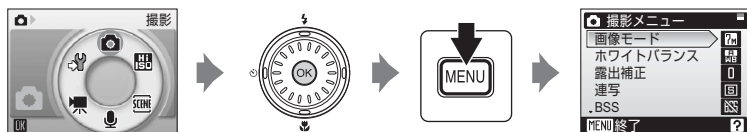
電子式手ブレ補正※2 104

静止画撮影時の手ブレの影響を軽減する電子式手ブレ補正機能のオート／OFFを設定します。

※1 これらの機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります（105）。
※2 高感度メニューでは、設定できません。

撮影、再生、セットアップメニューを使う

撮影メニュー／高感度メニューの表示方法

撮影時にmボタンを押してモードメニューを表示し、ロータリーマルチセレクターで（オート撮影）またはHI ISO（高感度）を選んでOKボタンを押します。MENUボタンを押すと、撮影メニューまたは高感度メニューが表示されます。

- メニューの選択と設定にはロータリーマルチセレクターを使います（10）。
- 撮影メニュー、高感度メニューを終了するには、MENUボタンを押します。

画像モード

画像モード（画像の大きさと圧縮率の組み合わせ）を設定します。画像の用途や内蔵メモリー／SDカードの残量に合わせて設定します。次の表で上にある画像モードほど、より精細な画像を大きくプリントできますが、ファイルサイズが大きくなるため、記録できるコマ数は少なくなります。

画像モード	画像の大きさ（ピクセル）	内　容
高画質（3072★）	3072×2304	［標準］よりも精細な画像になります。圧縮率は約1/4です。
標準（3072）	3072×2304	ファイルサイズと画質のバランスが良く、一般的な撮影に適した画像モードです。圧縮率は約1/8です。
標準（2592）	2592×1944	
エコノミー（2048）	2048×1536	［標準］よりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。圧縮率は約1/8です。
パソコン（1024）	1024×768	パソコンのモニターに表示するときに適しています。圧縮率は約1/8です。
TV（640）	640×480	電子メールへの添付や、テレビへの表示に適しています。圧縮率は約1/8です。

画像モードの設定状況は、撮影時や再生時の画面で確認できます（6、7）。

画像モードと記録可能コマ数

内蔵メモリーや256MBのSDカードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量のSDカードでも、カードの種類によって、記録可能コマ数が異なる場合があります。

画像モード	内蔵メモリー（約14MB）	SDカード（256MB）	プリント時の大きさ（出力解像度300dpiの場合）
高画質（3072★）	4コマ	約70コマ	約26×19.5 cm
標準（3072）	8コマ	約140コマ	約26×19.5 cm
標準（2592）	11コマ	約190コマ	約22×16.5 cm
エコノミー（2048）	17コマ	約300コマ	約17×13 cm
パソコン（1024）	59コマ	約1040コマ	約9×7 cm
TV（640）	112コマ	約1960コマ	約5×4 cm

※ 記録可能コマ数が10000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

画像モードの設定について

画像モードはシーンメニュー、ブレ軽減メニュー、フェイスクリアーメニューからでも設定できます。どのメニューから設定しても同じ設定になります。

WB ホワイトバランス

光源に合わせて、画像が見た目に近い色で撮影されるようにすることを「ホワイトバランスを合わせる」といいます。初期設定の［オート］でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更してください。

AWB	**オート**
	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。ほとんどの場合、この設定のままで撮影できます。
PRE	**プリセット**
	特殊な照明の下などでの撮影に適しています。詳しくは次ページをご覧ください。
☀	**晴天**
	晴天の屋外での撮影に適しています。
	電球
	白熱電球の下での撮影に適しています。
	蛍光灯
	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
☁	**曇天**
	曇り空の屋外での撮影に適しています。
	フラッシュ
	フラッシュを使って撮影する場合に適しています。

ホワイトバランスの設定状況は、撮影時の画面で確認できます（［オート］のときは、何も表示されません）（6）。

［オート］、［フラッシュ］以外を選んだとき

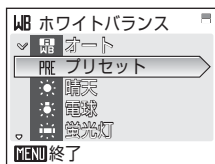
［オート］、［フラッシュ］以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを（発光禁止）に設定してください（30）。

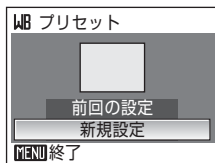
PRE　プリセットホワイトバランス

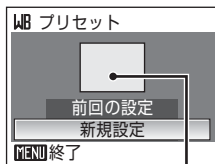
特殊な照明の下で撮影するときなど、［オート］や［電球］などの設定では望ましい結果が得られない場合に使用します（赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せる場合など）。

1 撮影時に使う照明と、白またはグレーの被写体を用意する

2 ［ホワイトバランス］画面で、ロータリーマルチセレクターで［プリセット］を選び、Ⓚボタンを押す

- レンズが望遠側にズームします。

3 ［新規設定］を選ぶ

- 前回プリセットしたホワイトバランスを使いたいときは、［前回の設定］を選んでⓀボタンを押してください。ホワイトバランスが前回のプリセット値に設定されます。

4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を写す

測定窓

5 Ⓚボタンを押す

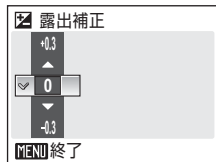
- シャッターがきれて、ホワイトバランスのプリセット値が新たに設定されます。
- 画像は記録されません。

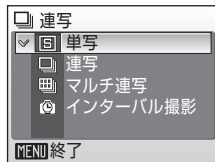
プリセットホワイトバランスについてのご注意

手順5でⓀボタンを押したとき、フラッシュは発光しません。このため、フラッシュ撮影時のホワイトバランスの測定はできません。

撮影、再生、セットアップメニューを使う

露出補正

画像全体を明るくしたいときや暗くしたいときなどに使います。露出補正値は－2.0EV～＋2.0EVの範囲で、1/3段ごとに設定できます。「+」にすると明るく、「−」にすると暗くなります。
露出補正の設定状況は、撮影時の画面で確認できます（6）。

連写

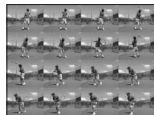
連写（連続撮影）するための設定です。連写中のピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。

単写

1コマずつ撮影します。

連写

シャッターボタンを全押ししている間、約1.4コマ／秒で連写できます。画像モードが7M標準（3072）の場合、連続で約7コマ撮影できます。

マルチ連写

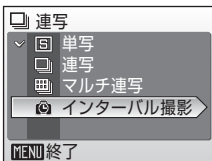
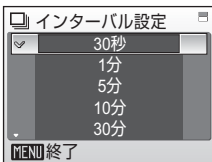
シャッターボタンを1回全押しすると約1.6コマ／秒で16コマの連続写真を撮影し、右のような1コマの画像（5M 標準（2592））として記録します。

インターバル撮影

あらかじめ設定した撮影間隔（インターバル）で、静止画を自動的に連続撮影（最大1800コマ）します。

連写モードの設定状況は、撮影時の画面で確認できます（［単写］のときは、何も表示されません）(6)。

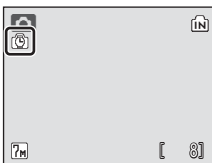
インターバル撮影

撮影間隔を［30秒］［1分］［5分］［10分］［30分］［60分］から選び、静止画を自動的に連続撮影します。インターバル撮影の際は、途中でバッテリーが切れることがないよう、充分に充電したバッテリーをお使いいただくことをおすすめします。

1 ［連写］画面で、ロータリーマルチセレクターで［インターバル撮影］を選び、OKボタンを押す

2 撮影間隔を選び、OKボタンを押す

3 MENUボタンを押す

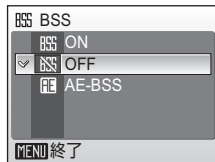
- 撮影画面に戻ります。

4 シャッターボタンを全押しして、1回目の撮影を開始する

- 撮影の合間は、液晶モニターが消灯し、表示ランプが緑色で点滅します。
- 次の撮影直前になると、自動的に液晶モニターが点灯して撮影されます。

5 もう一度シャッターボタンを全押しして、撮影を終了する

- 内蔵メモリー／SDカードの残量がなくなったとき、撮影コマ数が1800コマに達したとき、撮影が自動的に終了します。

BSS BSS

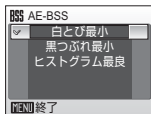
手ブレしやすい状況や、露出調整が難しい状況での撮影は、BSS（ベストショットセレクター）を設定します。
［ON］［AE-BSS］に設定すると、フラッシュが発光禁止になり、ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマで固定されます。

ON

暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときや、望遠側で撮影するときなど、手ブレしやすい状況で撮影する場合に設定します。［ON］にすると、シャッターボタンを全押ししている間、連写を続け（最大10コマ）、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている1コマをカメラが自動的に選んで記録します。

OFF

通常通り、1コマ撮影します。

AE-BSS

被写体の明暗差が激しい場面など、露出調整が難しい状況で撮影する場合に設定します。

白とび最小	露出オーバーによる白とびが最も少ない画像が記録されます。
黒つぶれ最小	露出アンダーによる黒つぶれが最も少ない画像が記録されます
ヒストグラム最良	白とびや黒つぶれが少なく、画像全体の露光量が最も標準的な画像が記録されます。

［AE-BSS］の条件を設定して、シャッターボタンを1回押す（押し続ける必要はありません）と、5コマ連続撮影します。その中から設定した条件に最も近い1コマをカメラが自動的に選んで記録します。

BSSの設定状況は、撮影時の画面で確認できます（6）。

BSSについてのご注意

BSSは静止している被写体の撮影に効果的ですが、動いている被写体の撮影や、構図を変えながらの撮影では、望ましい結果が得られない場合があります。

ISO　ISO感度

フィルムカメラで使うフィルムのISO感度に相当する数値を設定します。ISO感度を高くすると、暗い場所や動いている被写体の撮影に効果的ですが、撮影した画像が多少ざらつく場合があります。
［オート］にすると、明るい場所ではISO 50になります。暗い場所では、自動的にISO 800相当までISO感度が高くなります。ISO感度を固定する場合は、［50］［100］［200］［400］［800］［1600］から選びます。
ISO感度の設定状況は、撮影時の表示で確認できます（6）。［オート］のとき、ISO 50相当で撮影できるときは何も表示されず、ISO感度が自動的に上がったときに［ISO］マークが表示されます（31）。

ピクチャーカラー

記録する画像の色調を変えます。

標準カラー	自然な色調になります。
ビビッドカラー	はっきりした色調になります。
白黒	モノクロになります。
セピア	セピア色になります。
クール	ブルー系のモノトーンになります。

ピクチャーカラーの設定状況は、撮影時の画面で確認できます（［標準カラー］のときは、何も表示されません）。また設定に応じて、画面の色調も変わります（6）。

[+] AFエリア選択

画面のどの位置でピントが合うかを設定します。

[■] 中央

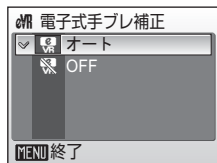
画面中央の被写体にピントが合います。
AFエリアが画面中央に常に表示されます。

[::] マニュアル

画面内の99ヵ所からピントを合わせたい位置を選びます。ロータリーマルチセレクターの▲▼◀▶ を押して、画面に表示されているAFエリアを、ピントを合わせたい位置に動かしてから撮影します。
AFエリア選択中にフラッシュモードやマクロモード、セルフタイマーの設定を変更する場合は、Ⓞボタンを押していったんAFアリア選択状態を解除し、それぞれの設定を行います。▶ を押すと、再びAFエリア選択状態に戻ります。

eVR 電子式手ブレ補正

［オート］に設定すると、以下の条件で静止画撮影時に電子式手ブレ補正が働き、手ブレの影響を軽減します。

- フラッシュモードが［発光禁止］または［スローシンクロ］のとき
- シャッタースピードが低速のとき
- 単写のとき

電子式手ブレ補正の設定状況は、撮影時の画面で確認できます（［OFF］のときは、何も表示されません）（6）。

✔ 電子式手ブレ補正のご注意

- カメラの電源をONにした直後や待機状態から復帰した直後は、手ブレ補正が働かないことがあります。
- 露光時間が一定値よりも長時間の場合、手ブレ補正は働きません。
- 手ブレが大きい場合、手ブレ補正の効果が低くなります。
- 被写体ブレは補正できません。

同時に設定できる機能の制限

モードでは、以下のように、複数の機能を同時に設定できない場合があります。

フラッシュモード

［連写］モードを［連写］または［マルチ連写］にするか、［BSS］を［ON］または［AE-BSS］にすると、フラッシュモードはに固定されます。
［連写］モードを［単写］か［インターバル撮影］に戻す、または［BSS］を［OFF］に戻すと、元のフラッシュモードに戻ります。

セルフタイマー

セルフタイマーをONにすると、
- ［連写］モードは設定に関わらず、［単写］として動作します。
- ［BSS］は設定に関わらず、［OFF］として動作します。

セルフタイマーをOFFにする（またはセルフタイマー撮影が完了する）と、［連写］モードまたは［BSS］の設定が有効になります。

連写

［連写］モードを［連写］または［マルチ連写］［インターバル撮影］のいずれかにすると、［BSS］は［OFF］に変更されます。
［連写］モードを［単写］に戻しても、［BSS］は［OFF］のままです。

BSS

［BSS］を［ON］または［AE-BSS］にすると、［連写］モードは［単写］に変更されます。
［BSS］を［OFF］に戻しても、［連写］モードは［単写］のままです。

ホワイトバランスとピクチャーカラー

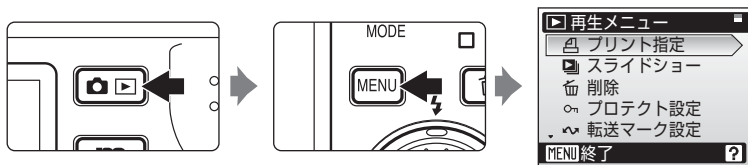
［ピクチャーカラー］を［白黒］［セピア］［クール］のいずれかにすると、［ホワイトバランス］は［オート］に固定されます。
［ピクチャーカラー］を［標準カラー］または［ビビッドカラー］に戻すと、元の［ホワイトバランス］の設定に戻ります。

再生に関する設定—再生メニュー

再生メニューには、以下の項目があります。

🖨	**プリント指定**	107
	プリンターでプリントする画像や、その枚数などを設定します。	
	スライドショー	108
	内蔵メモリー／SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。	
	削除	109
	画像を削除します。	
	プロテクト設定	109
	大切な画像を誤って削除しないように、プロテクト（保護）します。	
	転送マーク設定	110
	撮影済みの画像に、パソコンに転送するための転送マークを付けます。	
	画像回転	110
	撮影した静止画の向きを変更します。	
	スモールピクチャー	56
	撮影した画像から、サイズの小さい画像を新しく作ります。	
	画像コピー	111
	内蔵メモリーとSDカードの間で画像をコピーします。	

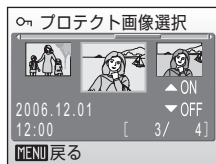
再生メニューの表示方法

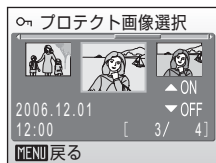
再生メニューを表示するには、▶ボタンを押して画像を再生し、MENUボタンを押すと再生メニューが表示されます。

- メニューの選択と設定にはロータリーマルチセレクターを使います（10）。
- 再生メニューを終了するには、MENUボタンを押します。

画像選択画面の操作方法

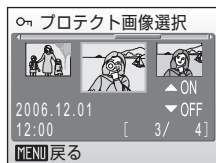
再生メニューの［プリント指定］（91）、［削除］（109）、［プロテクト設定］（109）、［転送マーク設定］（110）、［画像回転］（110）、［画像コピー］（111）およびセットアップメニューの［オープニング画面］（114）では、設定の対象となる画像を選ぶと、右のような画像選択画面が表示されます。操作方法は以下のとおりです。

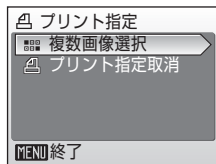
1 ロータリーマルチセレクターで画像を選ぶ

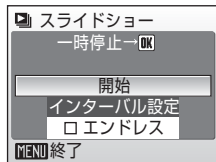
- 選択中の画像が、中央に大きく表示されます。
  例：プロテクト設定する場合
- ［画像回転］、［オープニング画像］の画像選択の場合は、1画像しか選べません。→手順3へ

2 ▲▼を押してON/OFF（または枚数）を設定する

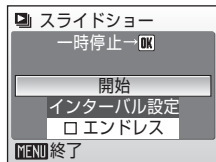
- ON にすると、選択画像中央にマークが表示されます。ほかの画像にも設定したいときは、手順1、2を繰り返してください。

3 Ⓚボタンを押す

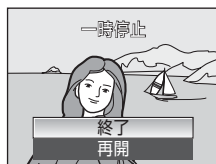
- 設定が有効になります。

プロテクト終了

プリント指定

画像をDPOF（144）対応プリンターなどでプリントするための設定を、あらかじめカメラで行うことができます（91）。

スライドショー

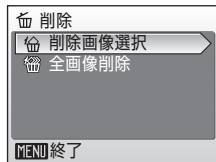
内蔵メモリー／SDカードに記録されている画像を、1コマずつ順番に自動的に連続再生します。

1 ［スライドショー］画面で、ロータリーマルチセレクターで［開始］を選び、OKボタンを押す

- 画像が表示される時間を変更するには、［開始］を選ぶ前に［インターバル設定］を選んでOKボタンを押し、間隔を選んでください。
- 繰り返し再生するには、［開始］を選ぶ前に［エンドレス］を選んでOKボタンを押し、チェックボックスをオン✔にしてください。

2 スライドショーが始まる

- スライドショーの再生中は、次の操作ができます。
  - ロータリーマルチセレクターで前後の画像を表示できます（回し続けると早送り／早戻しになります）。
  - OKボタンを押すと一時停止します。
- スライドショー終了時や一時停止時は、右の画面が表示されます。［終了］を選んでOKボタンを押すと再生メニューに戻り、［再開］を選んでOKボタンを押すとスライドショーが再開されます。

スライドショーについてのご注意

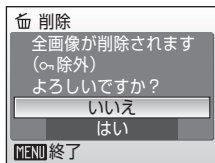
- 動画（74）は1フレーム目だけが表示されます。
- ［エンドレス］で再生していても、何も操作しないで約30分経過すると、液晶モニターが消灯します。何も操作しないまま、さらに約3分経過すると、電源がOFFになります。

削除

画像を削除できます。
SDカードをカメラに入れていない場合は、内蔵メモリー内の画像が削除されます。
SDカードをカメラに入れると、SDカード内の画像が削除されます。

削除画像選択

画像選択画面（107）で選んだ画像を削除します。

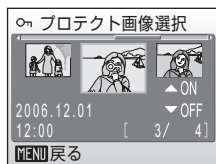
全画像削除

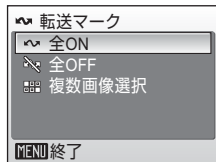
すべての画像を削除します。
- 削除確認画面で［はい］を選んで ⊛ ボタンを押すと、すべての画像が削除されます。
- キャンセルするときは［いいえ］を選んで ⊛ ボタンを押します。

画像削除についてのご注意
- 削除した画像はもとに戻せないのでご注意ください。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。
- マークが表示されている画像は、プロテクト（保護）されているので削除されません。

プロテクト設定

大切な画像を誤って削除してしまうことを防ぐために、画像にプロテクト（保護）を設定できます。ただし、内蔵メモリー／SDカードを初期化（フォーマット、123）すると、プロテクト設定した画像も削除されるので、ご注意ください。

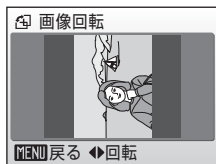
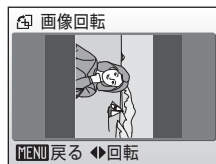
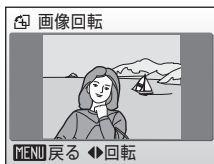
操作方法については→107

プロテクト設定した画像には、再生時にマークが表示されます（7）。

転送マーク設定

カメラに保存した画像に（転送）マークの設定／解除を行います。PictureProjectがインストールされたパソコンとカメラを付属のUSBケーブルで接続し、ボタンを押すとマークの付いた画像がパソコンに転送されます（83）。初期設定ではすべての画像に転送マークが付きます。

	全ON
	撮影済みのすべての画像に転送マークを付けます。
	全OFF
	撮影済みのすべての画像から転送マークを外します。
	複数画像選択
	画像選択画面（107）で、転送マークを付ける画像を選びます。

転送マークを付けた画像には、再生時にマークが表示されます（7）。

画像回転

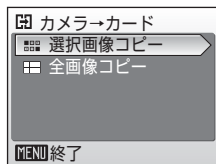
撮影した静止画の向きを時計方向に90度、または反時計方向に90度回転して記録します。
画像選択画面（107）で回転する画像を選びます。
［画像回転］画面が表示されますので、ロータリーマルチセレクターで回転方向を設定します。時計回りに回す（または▶ を押す）と静止画の向きが時計方向に90度回転します。
反時計回りに回す（または◀を押す）と反時計方向に90度回転します。
セットアップメニューの［縦位置情報の記録］（122）を［オート］（初期設定）にして縦位置で撮影した画像の場合、時計回り／反時計回りのどちらか一方向に180度まで回転できます。

**反時計方向に
90 度回転**

**時計方向に
90 度回転**

ボタンを押すと、表示している方向で設定が記録されます。

画像コピー

内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。
最初にコピー元／コピー先を選びます。

内蔵メモリー→SDカード	内蔵メモリーに記録されている画像をSDカードへコピーします。
SDカード→内蔵メモリー	SDカードに記録されている画像を内蔵メモリーへコピーします。

次にコピー方法を選びます。
［選択画像コピー］は、コピーしたい画像を選び（107）コピーできます。［全画像コピー］は内蔵メモリー／SDカードのすべての画像をコピーできます。

画像コピーについてのご注意

- 画像コピー中にコピー先の空き容量が不足したときは、画像コピーが中止され、エラーメッセージが表示されます。
- コピーできる画像ファイルの形式は、JPEG、MOV、WAVです。これ以外の形式の画像ファイルはコピーできません。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像のコピーはできません。

コピーした画像のファイル名について

- 選択画像コピーのときは、コピー先にすでに作成されているフォルダ内に選択した画像がコピーされ、コピー先およびコピー元双方での最も大きいファイル番号＋1からの連番で、ファイル名が付きます。
  例：コピー元メモリーのファイル番号の最大値が32（DSCN0032.JPG）、コピー先メモリーのファイル番号の最大値が18（DSCN0018.JPG）の場合
  コピーした画像のファイル名は、DSCN0033からの連番になります。
- 全画像コピーのときは、内蔵メモリー／ SD カードの全画像がフォルダごとコピーされます。フォルダ名は、新規のフォルダ番号（コピー先にある最大の番号に1を加えた番号）を付けた名前となります。コピー先に新しいフォルダを作成できないときは、コピーは実行されず、エラーメッセージが表示されます。

プリント指定、転送マーク設定、プロテクト設定について

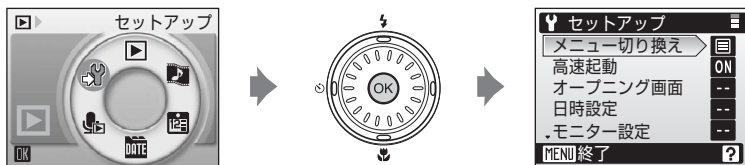
［プリント指定］（91）を行ったり、［転送マーク設定］（110）をONにした画像をコピーしても、これらの設定内容はコピーされません。ただし、［プロテクト設定］（109）をした画像をコピーしたときは、コピー先の画像もプロテクトされます。

カメラに関する基本設定―セットアップメニュー

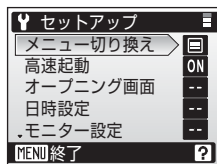
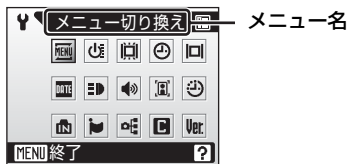
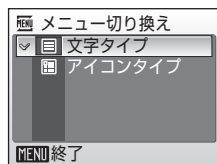
セットアップメニューには、以下の項目があります。

	メニュー切り換え	113
	メニューの表示形式を切り換えます。	
	高速起動	114
	オープニング画面と起動音の有無を設定します。	
	オープニング画面	114
	電源をONにしたときに表示される「オープニング画面」について設定します。	
	日時設定	115
	内蔵時計を合わせます。	
	モニター設定	118
	画面の表示内容や明るさを設定します。	
	デート写し込み	119
	画像に撮影日時を写し込む設定を行います。	
	AF補助光	121
	AF補助光の点灯／非点灯を設定します。	
	操作音	121
	操作音について設定します。	
	縦位置情報の記録	122
	撮影時の被写体の向きを情報として記録するかどうか設定します。	
	オートパワーオフ	122
	待機状態に入るまでの時間を設定します。	
／	**メモリーの初期化／カードの初期化（フォーマット）**	123
	内蔵メモリー／SDカードを初期化します。	
	言語／LANGUAGE	124
	画面に表示される言語を設定します。	
	インターフェース	124
	パソコンやテレビとの接続に必要な設定を行います。	
	設定クリアー	125
	各種設定を初期状態に戻します。	
Ver.	**バージョン情報**	127
	ファームウェアの情報を表示します。	

セットアップメニューの表示方法

m ボタンを押してモードメニューを表示し、ロータリーマルチセレクターで（セットアップ）を選んで ⓚ ボタンを押すと、セットアップメニューが表示されます。

- メニューの選択と設定にはロータリーマルチセレクターを使います（10）。
- セットアップメニューを終了するには、MENU ボタンを押します。

メニュー切り換え

撮影メニュー（94）、高感度メニュー（94）、シーンメニュー（35）、動画メニュー（69）、フェイスクリアーメニュー（49）、ブレ軽減メニュー（47）、再生メニュー（106）、セットアップメニュー（112）の第一階層（MENU ボタンで最初に表示されるメニュー）の表示方法を、［文字タイプ］と［アイコンタイプ］の2種類から選択できます。
［アイコンタイプ］に設定するとメニューの全項目を1画面に表示できます。アイコンタイプの場合、選択中のメニュー名が画面上部に表示されます。

文字タイプ

アイコンタイプ

高速起動

［ON］に設定すると、電源をONにしたときにオープニング画面とオープニング音が再生されず、すぐに撮影できる状態になります。
オープニング画面（114）を設定する場合は、［OFF］に設定してください。

オープニング画面

カメラの電源をONにしたときに液晶モニターに表示されるオープニング画面を設定します。
［高速起動］（114）を［OFF］に設定しないと、オープニング画面は設定できません。

Nikon

電源をONにしたとき、オープニング画面が表示されます。

アニメーション（初期設定）

電源をONにしたとき、オープニングアニメーションが表示されます。

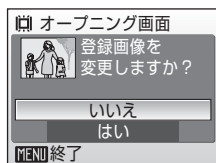
撮影した画像

内蔵メモリー／SDカードの画像を、オープニング画面として登録できます。登録した画像はカメラに記憶されるため、その画像を削除したりSDカードを入れかえたりしても、オープニング画面は変わりません。

1 ［画像の選択］画面で画像を選ぶ
- 操作方法については→ 107

2 OKボタンを押す

［撮影した画像］を選んだ場合

すでに画像を登録していると、登録していた画像を変更するかどうかを確認する画面が表示されます。

日時設定

カメラに内蔵された時計を設定します。
海外旅行などに便利なワールドタイム（時差を自動的に計算する）機能も設定できます。

日時

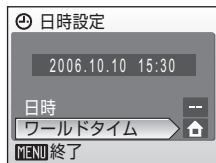
内蔵時計の日付と時刻を設定します。
設定方法については→18～19

ワールドタイム

海外旅行などに便利な機能です。訪問先のタイムゾーン（地域）を登録すると、自宅からの時差（117）を自動的に計算し、現地時間で撮影時刻を記録できます。

時差のある地域で使うには

1 ロータリーマルチセレクターで［ワールドタイム］を選び、OKボタンを押す

- ［ワールドタイム］画面が表示されます。

2 ✈（訪問先）を選び、OKボタンを押す

- 訪問先の時計に切り換わります。
- 夏時間（サマータイム）が現在実施されている地域でお使いになる場合は、ロータリーマルチセレクターで［夏時間］を選んでOKボタンを押し（時間が1時間進みます）、▲を押します。

3 ▶を押す

- ［訪問先の設定］画面が表示されます。

4 訪問先の地域を選び、OKボタンを押す

- 訪問先の地域が切り換わります。
- MENUボタンを押すと、撮影または再生モードに戻ります。
- 訪問先の時計に設定されているときは、撮影時の画面に✈マークが表示されます。

日時設定についてのご注意

カメラの内蔵時計は、カメラのバッテリーとは別の時計用電池で動いています。カメラにバッテリーを入れるかACアダプターを接続すると、時計用電池が約10時間で充電され、数日間、設定した日時を記憶できます。

⌂（自宅）の設定について

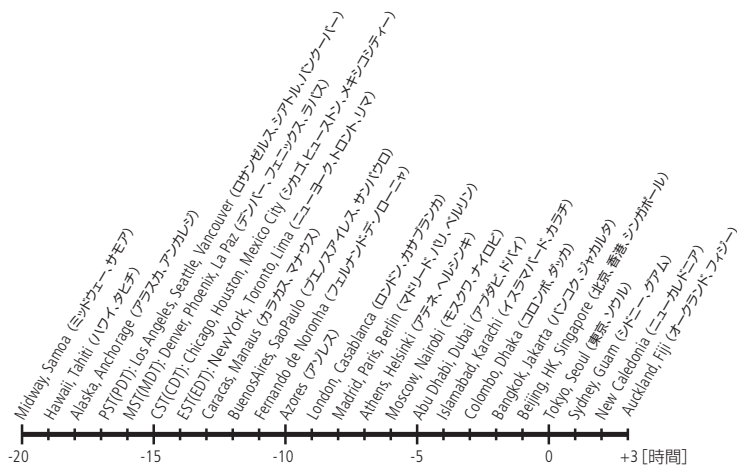
- 自宅のタイムゾーンに戻すには、手順2で⌂（自宅）マークを選んでください。
- 自宅のタイムゾーンを変更するには、手順2で⌂（自宅）マークを選び、✈（訪問先）と同様の手順でタイムゾーンを変更してください。

夏時間の設定を解除するには

夏時間の設定を解除するには、［ワールドタイム］画面で［夏時間］のチェックボックスをオフにします。

1 ロータリーマルチセレクターで⌂（自宅）または✈（訪問先）を選び、OKボタンを押す
2 ［夏時間］を選ぶ
3 OKボタンを押して、チェックボックスをオフにする
  - カメラの時間が1時間戻ります。
  - もう一度OKボタンを押すとチェックボックスをオン［✔］にできます。
4 MENUボタンを押す
  - 設定が有効になり、撮影または再生に戻ります。

タイムゾーンについて（18）

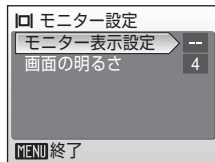
タイムゾーンと時差の関係は以下のとおりです。1時間未満の単位の時差がある場合は、［日時設定］で正確な時刻に合わせてください。

モニター設定

画面の表示内容や明るさを設定します。

モニター表示設定

撮影、再生時の画面に表示される情報について設定します。

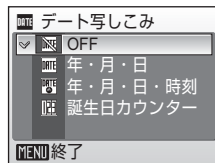
画面の明るさ

画面の明るさを5段階で調節できます。

［モニター表示設定］について

画面に表示される情報に関する設定を行います。
液晶モニターの表示内容については→6

	撮影時	再生時
情報ON		
情報AUTO	［情報ON］と同じ表示が5秒間続いた後、［情報OFF］に切り換わります。	
情報OFF		
方眼＋情報AUTO	モードでは［情報AUTO］の表示内容に加えて、構図を決める際の参考となる格子線が表示されます。 他の撮影モードでは、［情報ON］と同じです。	［情報ON］と同じです。

デート写し込み

画像に直接日時を写し込みます。DPOF（144）に対応していないプリンターで日付入り画像をプリントしたいときなどに使用します。

年・月・日

撮影した画像の右下に、日付が写し込まれます。

年・月・日・時刻

撮影した画像の右下に、日付と時刻が写し込まれます。

誕生日カウンター

お子様の成長記録や植物の観察日記などに便利な機能です。

デート写し込みの設定状況は、撮影時の画面で確認できます（6）。［OFF］のときは何も表示されません。

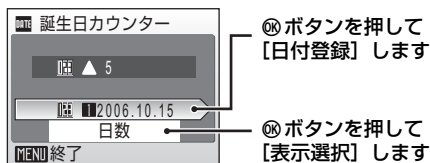
デート写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- ［デート写し込み］を設定すると、［電子式手ブレ補正］を［オート］に設定（104）していても自動的に［OFF］になります。（オート撮影）モードやシーンモードで手ブレ補正が働く状況になっても、手ブレ補正しません。再度［電子式手ブレ補正］を［オート］にすると、［デート写し込み］は［OFF］になります。
- ［デート写し込み］を設定していても、ブレ軽減モード（47）で撮影した画像には、日時は写し込まれません。
- ［画像モード］（95）が［TV（640）］の画像にデート写し込みを行うと、写し込んだ日付が見えにくい場合があります。画像モードは［パソコン（1024）］以上に設定してください。
- 年月日の並びは、［日時設定］（18、115）での設定と同じになります。

「デート写し込み」と「プリント指定」の違いについて

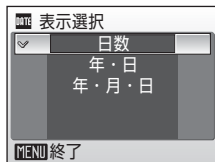
DPOF対応のプリンターでプリントする場合は、［プリント指定］（91）で撮影日時や撮影情報をプリントするように指定できます。「デート写し込み」と「プリント指定」の違いについては、「［デート写し込み］との違いについて」（92）をご覧ください。

誕生日カウンターの使い方

特定の日付からの日数を画像に入れられます。誕生日や結婚式までの日数をカウントダウン形式で入れたり、子供が産まれた日からの経過日数を入れるなどの用途に使えます。

日付登録

1～3のいずれかを選んでロータリーマルチセレクターの▶ を押すと、[日付設定] 画面が表示されます（19）。日付を設定後、Ⓚボタンを押してください。日付は3種類まで登録できます。他の日付に切り換えるには、1～3のいずれかを選んでⓀボタンを押してください。

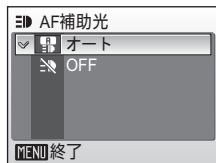
表示選択

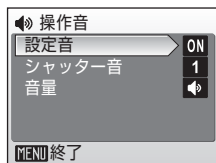
日付の表示形式を選んでⓀボタンを押してください。

誕生日カウンターを使って撮影した画像には、以下のように日付が写し込まれます。

記念日まであと 2 日の場合

記念日から 2 日後の場合

AF補助光

［オート］に設定すると、暗い場所などで自動的にAF補助光が点灯します。
ただし、［オート］に設定していても、シーンモードによってはAF補助光が発光しない場合があります。
［OFF］に設定すると、AF補助光が点灯しません。暗い場所などでピントが合いにくくなることがありますので、ご注意ください。

操作音

操作音について設定します。

設定音

設定音（電子音1回：設定完了時など）や警告音（電子音3回：禁止動作を行ったときなど）のON/OFFを設定します。

シャッター音

シャッターをきったときのシャッター音の種類を［1］、［2］、［3］、［OFF］から選べます。

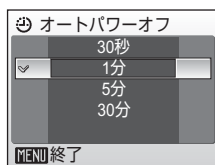
音量

上記3種類の音量を［大］、［標準］、［OFF］から選べます。

縦位置情報の記録

撮影時のカメラの縦横位置（姿勢）情報を画像に記録するかどうかを設定します。
［オート］にすると、カメラの液晶モニターやPictureProject で画像を再生するときに、記録した縦横位置情報を利用して、自動的に画像を回転表示します。［OFF］にすると、縦横位置情報は記録されず、常に横位置で表示されます。

オートパワーオフ

電源をONにしたまま何も操作しないで一定時間が過ぎると、バッテリーの消耗を抑えるために液晶モニターが消灯し、待機状態（23）に入ります。待機状態になると、電源ランプが点滅します。
ここでは、待機状態に入るまでの時間を［30秒］、［1分］、［5分］、［30分］から選べます。待機状態に入ってから、何も操作しないでさらに約3分経過すると、電源がOFFになります。

オートパワーオフについてのご注意

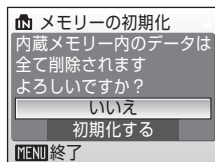
以下の場合は、待機状態に入るまでの時間が決まっています。

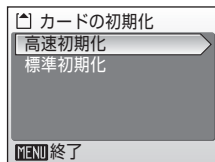
- メニューの表示中：3分
- スライドショーやPictmotionのエンドレス再生中、ACアダプターを接続中：30分

IN／□　メモリー／カードの初期化（フォーマット）

内蔵メモリーまたはSDカードを初期化（フォーマット）します。

内蔵メモリーの初期化

内蔵メモリーを初期化するときは、SDカードを取り出してください。セットアップメニューの項目に［メモリーの初期化］が表示されます。

SDカードの初期化

SDカードをカメラに入れると、SDカードを初期化できます。セットアップメニューの項目に［カードの初期化］が表示されます。

高速初期化

SDカード上のデータが記録されている領域のみを初期化します。

標準初期化

データが記録されていない領域も含むSDカード全体が初期化されます。標準初期化は高速初期化に比べて処理時間が長くなります。

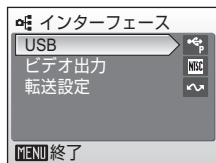
初期化についてのご注意

- 内蔵メモリー／SDカードを初期化すると、内蔵メモリー／SDカード内のデータはすべて削除されます。初期化する前に必要なデータはパソコンなどに転送してください。
- 初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリーやSDカードを取り出したりしないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをCOOLPIX S7/COOLPIX S8で初めて使う場合は、［標準初期化］をしてからお使いください。
- SD カードは、撮影と削除を繰り返すと処理能力が落ちてくるため、定期的にカメラで［標準初期化］を行うことをおすすめします。
- バッテリー残量が少ないときは、［標準初期化］はできません。

言語／LANGUAGE

画面に表示される言語を、日本語（初期設定）または英語に設定します。

インターフェース

パソコンやテレビとの接続に必要な設定を行います。

USB

パソコンやプリンターとの通信方式を［Mass Storage］と［PTP］から選びます。

詳しくは→81（パソコンとの接続時）、→86（プリンターとの接続時）

ビデオ出力

ビデオの出力方式を［NTSC］と［PAL］から選べます。［NTSC］と［PAL］はいずれも、アナログカラーテレビ放送の規格です。日本ではNTSC方式が、欧州ではPAL方式が主流です。

転送設定

［ON］にすると、設定後に撮影するすべての画像に転送マーク（84）が付きます。

🄲 設定クリアー

［はい］を選ぶと、カメラの各種設定が初期状態にリセットされます。
以下の項目がリセットされます。

撮影の基本機能

フラッシュモード（🔍30）	オート
セルフタイマー（🔍32）	OFF
マクロモード（🔍33）	OFF

シーンモード

シーンモード（🔍35）	ポートレート
ポートレートモード（🔍37）	ポートレート
風景モード（🔍38）	風景
スポーツモード（🔍39）	スポーツ
夜景ポートレートモード（🔍40）	夜景ポートレート

フェイスクリアーメニュー

ポートレート効果（🔍49）	標準

動画メニュー

動画設定（🔍70）	カメラ再生320
AF-MODE（🔍73）	シングルAF
電子式手ブレ補正（🔍73）	OFF

Pictmotionの設定

BGM（🔍66）	ハイスピード
スタイル（🔍66）	モーション
画像の再生方法（🔍66）	ランダム再生
画像／音楽の優先（🔍66）	画像繰り返し
選択枚数（🔍66）	10枚選択

撮影メニュー

画像モード（🔗95）	7M標準
ホワイトバランス（🔗97）	オート
露出補正（🔗99）	0
連写（🔗100）	単写
BSS（🔗102）	OFF
ISO感度設定（🔗103）	オート
ピクチャーカラー（🔗103）	標準カラー
AFエリア選択（🔗104）	中央
電子式手ブレ補正（🔗104）	オート

セットアップメニュー

メニュー切り換え（🔗113）	文字タイプ
高速起動（🔗114）	ON
オープニング画面（🔗114）	アニメーション
モニター表示設定（🔗118）	情報AUTO
画面の明るさ（🔗118）	4
デート写し込み（🔗119）	OFF
AF補助光（🔗121）	オート
設定音（🔗121）	ON
シャッター音（🔗121）	1
音量（🔗121）	標準
縦位置情報の記録（🔗122）	オート
オートパワーオフ（🔗122）	1分
転送設定（🔗124）	ON

その他

音声レコードの音質設定（🔗76）	高
用紙設定（🔗87、88）	プリンターの設定

- ［設定クリアー］を行うと、ファイル番号の連番（🔗129）もクリアーされます。クリアー後に撮影した画像には、内蔵メモリー／SDカード内の最大ファイル番号の次の番号から連番が付けられます。ファイル名の連番を0001に戻したいときは、内蔵メモリー／SDカード内の画像をすべて削除（🔗109）してから、［設定クリアー］を行ってください。

- 以下の項目（いずれもセットアップメニュー）は、［設定クリアー］を行っても初期設定には戻りません。
  ［日時設定］（115）、［誕生日カウンター］の登録日（120）、［言語／LANGUAGE］（124）、［インターフェース］（124）の［USB］と［ビデオ出力］

Ver. バージョン情報

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

別売アクセサリー

充電式バッテリー	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL8
充電器	バッテリーチャージャー MH-62※
ACアダプター	ACアダプター EH-64※
クレードル	COOL-STATION MV-15:COOLPIX S7 COOL-STATION MV-14:COOLPIX S8
イメージリンク対応プリンターアダプター	ドックインサートPV-11:COOLPIX S7 ドックインサートPV-10:COOLPIX S8
USBケーブル	USBケーブルUC-E10
AVケーブル	オーディオビデオケーブルEG-E5000

※ 日本国内専用電源コード（AC100V対応）付属。日本国外で使用する場合は、別売の電源コードが必要です。

推奨SDカード一覧

以下のSDカードの動作を確認しています。

SanDisk社製	64MB、128MB、256MB、512MB、1GB、256MB※、512MB※、1GB※
東芝製	64MB、128MB、256MB、512MB、1GB、128MB※、256MB※、512MB※
松下製	64MB、128MB、256MB、512MB、1GB、256MB※、512MB※、1GB※
Nikon製	1GB※

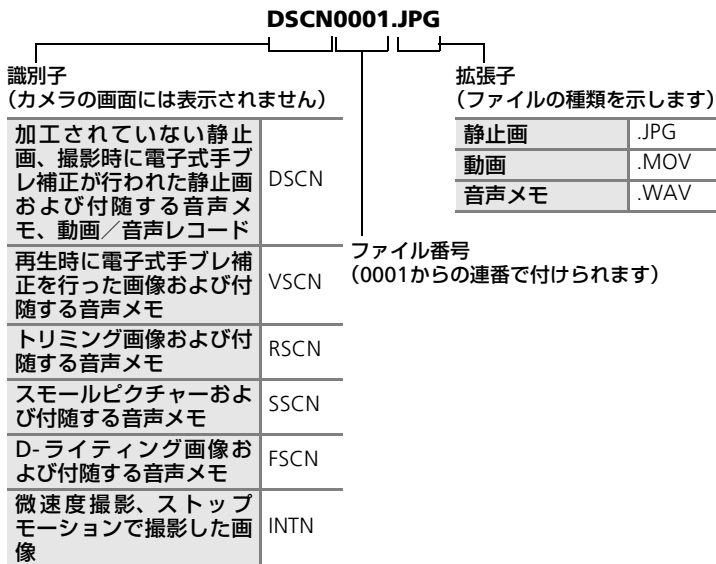
※ 10MB/sの高速タイプ

上記カードの機能、動作の詳細については、各カードメーカーにお問い合わせください。
最新の動作確認済みSDカードについては、当社ホームページのサポート情報をご覧ください。

記録データのファイル名とフォルダ名

このカメラで撮影した静止画や動画、音声メモには、以下のようなファイル名が付けられます。

識別子	
加工されていない静止画、撮影時に電子式手ブレ補正が行われた静止画および付随する音声メモ、動画／音声レコード	DSCN
再生時に電子式手ブレ補正を行った画像および付随する音声メモ	VSCN
トリミング画像および付随する音声メモ	RSCN
スモールピクチャーおよび付随する音声メモ	SSCN
D-ライティング画像および付随する音声メモ	FSCN
微速度撮影、ストップモーションで撮影した画像	INTN

拡張子	
静止画	.JPG
動画	.MOV
音声メモ	.WAV

- ファイルが保存されるフォルダは、「フォルダ番号＋NIKON」（例：100NIKON）という名前で、自動的に作られます。フォルダ内のファイル数が200に達すると、新しいフォルダが作られます（例：100NIKON → 101NIKON）。フォルダ内のファイル番号が9999に達した場合も新しいフォルダが作られ、ファイル番号は0001に戻ります。
- 音声レコード（75）のデータは「SOUND」「SOUNE」フォルダに保存されます。
- パノラマアシストモード（45）では、撮影のたびに「フォルダ番号＋P_XXX」という名前のフォルダ（例：101P_001）が作られ、ファイル番号0001から始まる一連の画像が保存されます。
- インターバル撮影（101）では撮影のたびに「フォルダ番号＋INTVL」という名前のフォルダ（例：101INTVL）が作られ、ファイル番号0001から始まる一連の画像が保存されます。

- 画像データや音声データを内蔵メモリーとSDカードの間でコピーする場合（79、111）、ファイル名は以下のようになります。
  - 「画像選択コピー」または「選択データコピー」：使用中のフォルダ（または次回の撮影で使われるフォルダ）に、データがコピーされます。コピーされたデータのファイル名は、「内蔵メモリーおよびSDカード内の最大ファイル番号＋1」から連番で付けられます。
  - 「全画像コピー」または「全データコピー」：データはフォルダごとにコピーされます。フォルダ名は「コピー先の最大フォルダ番号＋1」から連番で付けられます。
    ファイル名は変わりません。
- Pictmotion（63）は「NKSS」フォルダ内に保存されます。作成のたびに「NKSS」フォルダ内に「3桁のフォルダ番号＋PRJCT」という名前のフォルダ（例：101PRJCT）が作られ、その中にそのPictmotionで使う画像と音楽ファイルがまとめて保存されます。
- フォルダ番号が 999 のときにファイル数が 200 個またはファイル番号が9999に達した場合は、それ以上撮影できません。SDカードを交換するか、内蔵メモリー／SDカードを初期化（123）してください。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ

レンズのガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないように注意してください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布などでガラス部分の中央から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れない場合は、乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。硬いもので拭くと傷が付くことがありますのでご注意ください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。強く拭くと破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

カメラボディー

ゴミやホコリをブロアーで吹き払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。
ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

保管について

長期間カメラをお使いにならないときは、バッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前に、電源がOFFになっていることをご確認ください。
次の場所にカメラを保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が60％を超える場所

取り扱い上のご注意

カメラについて

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズやレンズバリアーに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射はCCDの褪色・焼き付きを起こす恐れがあります。また、その際撮影された画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 保管する際には

カメラを長期間お使いにならないときは、必ずバッテリーを取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● バッテリーやACアダプターを取り外すときは必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態で、バッテリーやACアダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

● 液晶モニターについて

- 液晶モニターの特性上、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。記録される画像には影響はありません。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくい場合があります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。もしホコリやゴミ等が付着した場合は、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますので充分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

● スミアーについて

明るい被写体を写すと、液晶モニター画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミアー現象といい、故障ではありません。撮影された画像（動画を除く）には影響はありません。

● AF補助光について

AF補助光（4、121）に使用されているLED（発光ダイオード）は、以下のIEC規格に準拠しています。

バッテリーについて

● 使用上のご注意

- 長時間お使いになったバッテリーは、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が0～40℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能劣化や故障の原因となります。充電は室温（5～35℃）で行ってください。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたときは、すぐに使用を中止して、販売店またはニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、必ず付属の端子カバーを付けてください。

● 充電について

撮影の前に、充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりませんので、ご注意ください。

- 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電しないでください。バッテリー性能が劣化します。
- 充電直後にバッテリーの温度が上がる場合がありますが、性能その他に異常はありません。
- カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなる場合は、バッテリーの温度が下がるのを待ってから、充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因となります。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、予備バッテリーをご用意ください。特に、日本国外の地域によっては入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

● 低温時のバッテリーについて

バッテリーは一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時にお使いになるときは、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

● 低温時には容量の充分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーをお使いになると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は充分に充電されたバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互にお使いください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻るとお使いいただける場合があります。

● バッテリー接点について

バッテリーの接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなる場合がありますので、ご注意ください。

● 残量について

残量のなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してからお使いください。

● 保管について

- お使いにならないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。カメラやバッテリーチャージャーに取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微小電流が流れ続けることで過放電になり、使用できなくなるおそれがあります。
- バッテリーをしばらくお使いにならないときは、使い切った状態で保管してください。
- 長期間保管するときは、年に1回程度、充電してから使い切り、保管してください。
- 付属の端子カバーを付けて、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15～25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。

● 寿命について

充分に充電したにもかかわらず、バッテリーの使用期間が極端に短くなってきた場合は、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお求めください。

● リサイクルについて

充電を繰り返して劣化し使用できなくなったバッテリーは、再利用しますので廃棄しないでリサイクルにご協力ください。端子部にテープなどを貼り付けて絶縁させてから、ニコンサービスセンターやリサイクル協力店へご持参ください。

警告メッセージ

画面に表示される警告メッセージの意味は、以下のとおりです。

表示	意味	対処法	
（点滅）	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定する。	115
	電池の残量が少なくなりました。	バッテリーを充電または交換の準備をする。	12
電池残量がありません	電池の残量がありません。	バッテリーを充電または交換する。	12
AF● （赤色点滅）	ピントを合わせることができません。	• ピントを合わせ直す。 • フォーカスロック撮影を行う。	26、27、104
記録中 しばらくお待ちください	画像の記録中です。	記録が終了して警告表示が消灯するまで待つ。	–
カードがロックされています	SD カードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。	「Lock」を解除する。	21
カードが入っていません	SDカードを入れていない状態でPictmotionを選びました。	SDカードを入れてください。	20
このカードは使用できません	SD カードへのアクセス異常です。	• 動作確認済みのカードを使う。 • カードの端子部分が汚れていないか確認する。 • カードが正しく挿入されているか確認する。	128 20 20
カードに異常があります			
初期化されていません 初期化する いいえ	SDカードが、COOLPIX S7/S8用に初期化されていません。	［初期化する］を選んで OK ボタンを押し、SDカードを初期化する。	21
メモリー残量がありません	データを記録する空き容量がありません。	• 画像モードを変更する。 • 不要な画像や音声データを削除する。 • SD カードを交換する。 • SD カードをカメラから取り出し、内蔵メモリーを使う。	95 21、74、78 20 21

表示	意味	対処法	
画像を保存できません ／	画像記録中にエラーが発生しました。	内蔵メモリー／SDカードを初期化する。	123
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。	• SDカードを交換する。 • 内蔵メモリー／SDカードを初期化する。	20 123
	編集できない画像を編集しようとしました。	トリミングやスモールピクチャーが可能な条件を確認する。	52
	オープニング画面に登録できない画像です。	スモールピクチャーやトリミングで作成した画像で、画像サイズが320×240以下のものは、登録できません。	–
	画像コピー先の容量不足です。	コピー先の不要な画像を削除する。	109
音声を登録できません。 ／	これ以上記録できないファイル番号に達しました。	SDカードを交換するか、内蔵メモリー／SDカードを初期化してから、［設定クリアー］を行ってください。	20 123 125
この画像はすでに編集されています D-ライティングはできません	スモールピクチャー、トリミング、D-ライティングで作成した画像にD-ライティングを適用しようとしました。	編集された画像には、D-ライティングを適用できません。	54
動画記録できません	SDカードに動画を記録するのに時間がかかっています。	画像記録処理の速いSDカードに交換する。	128
撮影画像がありません	撮影済みの画像がありません。	–	–
音声データがありません	録音された音声データがありません。	–	–
このファイルは表示できません	パソコンや他社のカメラで作成されたファイルです。	このカメラでは再生できません。	–
このデータは再生できません			

付録

表示	意味	対処法	📖
表示可能な画像がありません	カレンダーモード／撮影日一覧モードで表示しようとした画像が、日時未設定です。	－	－
Pictmotion作成エラー	Pictmotion作成中にエラーが発生しました。	最初から作成してください。	63
Pictmotion再生エラー	Pictmotionのデータが壊れています。	エラーが発生したPicmotionを削除してください。	65
このファイルは削除できません	画像にプロテクトがかかっています。	プロテクトを解除する。	109
自宅と訪問先が同じタイムゾーンです	自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しました。	－	117
ピントが合いません レンズを初期化中です	ピントを合わせることができません。	レンズの初期化が終わるまでお待ちください。ズーム位置は最も広角側に移動します。	－
レンズエラー	レンズの作動不良です。	電源を入れ直してください。エラー表示が続く場合は、ニコンサービスセンターまでご連絡ください。	22
バリアーエラー	レンズバリアーが開きません。	レンズバリアーが指などで押さえられているため、開きません。レンズバリアーから指を離し、電源を入れ直してください。	4、132
手ブレ補正できません	手ブレ補正できない画像です。	以下の画像の場合、手ブレ補正できません。 • 手ブレが大きい画像、および手ブレが小さすぎる画像 • 本機以外で撮影した画像の場合 • シャッタースピードが遅すぎる場合 • カメラの電源ON直後や待機状態から復帰直後の場合 • マルチ連写、デート写し込みした画像の場合	55

表示	意味	対処法	参照ページ
この画像はすでに編集されています。手ブレ補正できません。	手ブレ補正できない画像です。	スモールピクチャー、トリミング、手ブレ補正処理された画像は、手ブレ補正できません。	55
通信エラー	パソコンやプリンターとの通信中に、USBケーブルが外れました。	パソコンに警告メッセージが表示された場合、［OK］をクリックしてPictureProjectを終了する。カメラの電源をOFFにしてケーブルを再接続してから、もう一度転送する。	81、86
	お使いのパソコンのOSとカメラのUSB通信方式の組み合わせでは、転送できません。	セットアップメニューの［インターフェース］→［USB］の設定を確認する。	81、82
	PictureProjectが起動していません。	–	–
転送マーキングされた画像がありません	転送マーク設定された画像がないのに、パソコンに画像を転送しようとしました。	再生メニューで転送マークを設定してから転送する。	84、110
転送エラー	画像転送中にエラーが発生しました。	カメラとパソコンの接続状況やバッテリー残量を確認する。	22、81
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続く場合は、ニコンサービスセンターまでご連絡ください。	14、22
プリンターエラー プリンターを確認してください	プリンターに異常があります。	プリンターを確認し、インクを確認するか、用紙切れなどエラーの原因を取り除いた後、［継続］を選んでOKボタンを押し、プリントを再開する（エラー内容によっては、［継続］を選べない場合があります）。	–

付録

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービスセンターにお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

表示・設定・電源関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
液晶モニターに何も映らない	• 電源が入っていない。 • バッテリー残量がない。 • 節電機能により待機状態になっている。→シャッターボタンを半押しする • フラッシュランプが点滅している。→フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。 • カメラとパソコンがUSBケーブルで接続されている。 • AVケーブルが接続されている。 • 微速度撮影中またはインターバル撮影中である。	22 22 23、26 31 81 80
液晶モニターがよく見えない	• 液晶モニターの明るさを調整する。 • 液晶モニターが汚れている。 • 節電機能により液晶モニターが約 50% の明るさになっている。	118 131 23
カメラの電源が突然切れる	• バッテリー残量がない。 • 無操作状態が続いたため、オートパワーオフ機能が働いた。 • 低温下ではカメラやバッテリーが正常に動作しない場合がある。	22 133
SDカードの［標準初期化］ができない	バッテリー残量が不足している。	22、123
撮影日時が正しく表示されない	• 日時設定を行っていない場合や撮影時に時計マークが点滅している場合は、撮影日時は［0000.00.00　00:00（静止画）］、［2006.09.01 00:00（動画）］と記録されます。［セットアップ］メニューの［日時設定］で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないので、定期的に日時設定を行うことをおすすめします。	18 115
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー［モニター設定］の［モニター表示設定］が［情報OFF］になっている。	118
［デート写し込み］が選べない	セットアップメニュー［日時設定］が設定されていない。	18、115

付録

こんなときは	考えられる原因や対処法	🕮
［デート写し込み］を有効にしたのに、日付が印字されない	以下の場合、日付は印字されません。 • シーンモードの［スポーツ］、［ミュージアム］、［パノラマアシスト］で撮影した画像 • 撮影メニューの連写モードが［連写］のとき、または［BSS］が［OFF］以外のとき • 動画	39、43、45 100、102 68
設定内容が初期状態に戻ってしまった	バックアップ電池が切れたため、設定がリセットされました。	116

●デジタルカメラの特性について

きわめて希に、液晶モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。このような場合は、電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてみてください。これによってカメラが作動しなくなったときのデータは失われるおそれがありますが、すでに内蔵メモリーまたはSDカードに記録されているデータは失われません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、ニコンサービスセンターにお問い合わせください。

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	🕮
撮影できない	• 再生モードになっている。→📷▶ボタンを押す • メニューが表示されている。→ MENU ボタンを押す • バッテリー残量がない。 • フラッシュランプが点滅している。→フラッシュの充電中	28 9 22 31
ピントが合わない	• ピントが合いにくい被写体（明暗差がはっきりしない／遠くのものと近くのものが混在する／連続した繰り返しパターン／極端な輝度差がある／背景に対してメインの被写体が小さい／絵柄が細かい）を撮影している。→フォーカスロックを利用して撮影する • 電源を入れ直す。	27 22

付録

こんなときは	考えられる原因や対処法	🔍
画像がぶれる	• フラッシュを使う。 • ブレ軽減撮影モードで撮る。 • BSS（ベストショットセレクター）を使う。 • 三脚などでカメラを安定させる（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。	30 47 102 32
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいる。→フラッシュモードを⊛（発光禁止）にする	31
フラッシュが発光しない	• フラッシュモードが ⊛ 発光禁止になっている。 • フラッシュが発光しないシーンモードになっている。 • 🎥 モード（［微速度撮影］、［ストップモーション］をのぞく）になっている。 • 撮影メニュー［連写］モードが［連写］か［マルチ連写］、または［BSS］が［OFF］以外になっている。	30 35 68 100、 102
光学ズームが使えない	動画撮影中は使えません。	68
電子ズームが使えない	アシスト機能付きシーンモード、撮影メニュー［連写］モードが［マルチ連写］のときは、電子ズームは使えません。	35、100
［画像モード］が選べない	撮影メニュー［連写］モードが［マルチ連写］のときは、設定できません。	100
シャッター音が鳴らない	• セットアップメニュー［操作音］の［シャッター音］が［OFF］になっている。 • シーンモードの［スポーツ］、🎥 モード、撮影メニューの連写モードが［単写］以外、［BSS］が［OFF］以外のとき。	121 39、68、 100、 102
AF補助光が光らない	• セットアップメニュー［AF 補助光］が［OFF］になっている。 • 一部のシーンモードでは発光しない。	121 35
画像が鮮明でない	レンズが汚れている。	131
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスが選ばれていない。	97
画像がザラつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっている。 →フラッシュを使う →ISO感度を固定する →ノイズ低減機能付きのシーンモードで撮影する	 30 103 37～45

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像が暗すぎる	• フラッシュモードが ⊛（発光禁止）になっている。 • フラッシュが指などでさえぎられている。 • 被写体にフラッシュの光が届いていない。 • 露出を補正する。 • 逆光で撮影している→シーンモードの［逆光］にするか、フラッシュモードを ⚡（強制発光）にする。	30 24 30 99 30、44
画像が明るすぎる	露出を補正する。	99
赤目以外の部分が補正された	フラッシュモードが［赤目軽減自動発光］のときや、フェイスクリアーモード時、シーンモードの［ポートレート］、［夜景ポートレート］で撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。上記以外の撮影モードで、フラッシュモードを［オート］または［強制発光］にして撮影してください。	30 37、40 48

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	• パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、名前が変更された。 • 微速度撮影中またはインターバル撮影中である。	–
画像の拡大表示ができない	動画やスモールピクチャー、320×240以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。	–
音声メモを録音できない	動画には音声メモを付けられません。	74
トリミング、D-ライティング、スモールピクチャーができない	• 動画は編集できない。 • トリミング、D-ライティング、スモールピクチャーが可能な条件を確認する。 • このカメラ以外で撮影した画像に対するこれらの操作について、動作を保証していません。また、このカメラで作成したこれらの画像を、このカメラ以外で再生した場合についても動作を保証していません。	74 52 –
Pictmotionが作成できない	このカメラ以外で撮影した画像を使ってPictmotionを作成する操作について、動作を保証していません。また、このカメラで作成したPictmotionを、このカメラ以外で再生した場合についても動作を保証していません。	–

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
［ユーザー音楽］が表示できない	• SD カード内にユーザー音楽がない • ユーザー音楽を保存した SD カードが初期化または交換された→もう一度パソコンから BGM を転送する	66
画像がテレビに映らない	• セットアップメニュー［インターフェース］の［ビデオ出力］が正しく設定されていない。 • COOL-STATION に AV ケーブルと USB ケーブルを同時に接続した→ USB ケーブルを抜く	124 –
カメラをパソコンに接続しても、PictureProject が自動起動しない	• カメラの電源が OFF になっている。 • バッテリー残量がない。 • USB ケーブルが正しく接続されていない。 • セットアップメニュー［インターフェース］→［USB］が正しく設定されていない。 • パソコンにカメラが正しく認識されていない。 • PictureProject が自動起動しない設定になっている。 PictureProject については、付属の PictureProject ソフトウェア使用説明書（CD-ROM）（銀色）をご参照ください。	22 22 81 82 – –
転送マークを付けられない	1000 コマ以上に転送マークを付けられません。PictureProject の［転送］ボタンで転送してください。	83
転送マークを付けたのに、認識されない	このカメラ以外のカメラで転送設定した画像です。もう一度このカメラで転送設定を行ってください。	84、110
画像を転送できない	以下の場合、カメラの ㊍ ボタンでは転送できないので、PictureProject の［転送］ボタンで転送する • 内蔵メモリー使用時で［USB］が［Mass Storage］の場合 • SD カードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されている場合	124 21
Pictmotion が転送できない	• MacOS には、Pictmotion は転送できません。 • カメラの OK ボタンでは転送できません。 → PictureProject の［転送］ボタンで転送する	– –

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF)：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。
- DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif (Exchangeable image file format) Version 2.2：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報をいかして最適なプリント出力を得ることができます。詳しくはプリンターの使用説明書をご参照ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。
- イメージリンク プリントシステム：デジタルカメラとプリンターをコードレスで接続して写真をプリントするための規格です。デジタルカメラをプリンタードックにのせれば、ワンボタンで簡単にプリントできます。

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX S7/COOLPIX S8

項目		仕様
型式		コンパクトデジタルカメラ
有効画素数		7.1メガピクセル
撮像素子		1/2.5型原色CCD、総画素数7.41メガピクセル
	画像モード	• 3072 × 2304［高画質（3072 ★）／標準（3072)］ • 2592 × 1944［標準（2592)］ • 2048 × 1536［エコノミー（2048)］ • 1024 × 768［パソコン（1024)］ • 640 × 480［TV（640)］
レンズ		光学3倍ズームニッコールEDレンズ
	焦点距離	f=5.8～17.4 mm（35mm判換算35～105 mm）
	絞り	F2.8～F5.0
	レンズ構成	10群12枚
電子ズーム		最大4倍（35mm判換算で約420 mm相当）
オートフォーカス		コントラスト検出方式
	撮影距離	• レンズ前約 30 cm ～∞ • マクロモード時は約4 cm（ズームのミドルポジション）～∞
	AFエリア	中央、マニュアル（99点）
	AF補助光	クラス1 LED製品（IEC 60285-1 Edition 1.2-2001） 最大出力値1600μW
手ブレ補正		電子式
液晶モニター		• 広視野角3.0型低温ポリシリコンTFT液晶、230,000画素、輝度調節機能付き（5 段階）：COOLPIX S7 • 広視野角2.5型低温ポリシリコンTFT液晶、230,000画素、輝度調節機能付き（5 段階）：COOLPIX S8
	視野率（撮影時）	上下左右とも約97%（対実画面）
	視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）
記録形式		
	記録媒体	内蔵メモリー（約14MB）、SDカード
	画像ファイル	DCF、Exif 2.2、DPOF準拠
	ファイル形式	圧縮：JPEG-Baseline準拠 動画：QuickTime 音声：WAV
露出		
	測光方式	マルチパターン測光256分割、中央部重点測光、スポット測光、AFスポット測光
	露出制御	プログラムオート、露出補正（±2段の範囲で1/3段刻み）可能

付録

項目	内容
露出連動範囲（ISO 100換算）	広角側：EV　0.0～＋15.9 望遠側：EV＋1.6～＋17.6
シャッター	メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用
シャッタースピード	2～1/500秒
絞り	電磁駆動によるNDフィルター選択方式
制御段数	2（F2.8、F7.9［広角側］）
ISO感度	ISO 50、100、200、400、800、1600、オート（ISO 50～800相当）
セルフタイマー	約10秒、約3秒
内蔵フラッシュ	
調光範囲	約0.3～7.5 m（広角側）、約0.3～4.0 m（望遠側）
調光方式	自動調光制御
インターフェース	USB
ビデオ出力	NTSC、PALから選択可能
入出力端子	マルチコネクター端子（イメージリンク対応）
言語	日本語、英語の2言語
電源	• Li-ion リチャージャブルバッテリーEN-EL8（リチウムイオン充電池：付属）× 1 本 • AC アダプター EH-64（付属）
充電時間	約2時間
撮影可能コマ数（電池寿命）※	約200コマ（EN-EL8使用時）：COOLPIX S7 約210コマ（EN-EL8使用時）：COOLPIX S8
寸法	• 約 100.5（W）× 60（H）× 21（D）mm：COOLPIX S7 • 約 93（W）× 59（H）× 20（D）mm：COOLPIX S8
質量	• 約 135g（バッテリー、SD カード除く）：COOLPIX S7 • 約 135g（バッテリー、SD カード除く）：COOLPIX S8
動作環境	
温度	0～＋40℃
湿度	85%以下（結露しないこと）

※CIPA規格（電池寿命測定方法を定めたカメラ映像機器工業会の規格）によるものです。測定条件は、25℃、撮影ごとにズーム、2回に1回の割合でフラッシュ撮影、画像モード「標準」です。

- 仕様中のデータは、すべて常温（25℃）、リチャージャブルバッテリー EN-EL8をフル充電で使用時のものです。

COOL-STATION MV-15（COOLPIX S7）

インターフェース	USB
入出力端子	• DC 入力　• デジタル端子（USB） • オーディオビデオ出力　• カメラ接続端子
使用温度	0～40℃
寸法	約111.5（W）×28（H）×50.5（D）mm（突起部除く）
質量	約52 g

COOL-STATION MV-14（COOLPIX S8）

インターフェース	USB
入出力端子	• DC 入力　• デジタル端子（USB） • オーディオビデオ出力　• カメラ接続端子
使用温度	0～40℃
寸法	約103.5（W）×28（H）×50.5（D）mm（突起部除く）
質量	約50 g

ドックインサートPV-11（COOLPIX S7）

寸法	約135.5（W）×22.5（H）×63（D）mm（突起部除く）
質量	約32 g

ドックインサートPV-10（COOLPIX S8）

寸法	約135.5（W）×22.5（H）×63（D）mm（突起部除く）
質量	約33 g

ACアダプター EH-64（COOLPIX S7/COOLPIX S8）

入力定格	AC100～240V（50/60Hz）/0.18～0.1A
定格入力容量	18～22VA
定格出力	DC4.8V/1.5A
使用温度	0～40℃
寸法	約41（W）×23.5（H）×79（D）mm（突起部除く）
コード長	約1.7 m
質量	約110 g（電源コードを除く）
電源コード	長さ約2 m、日本国内専用AC100V対応

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL8（COOLPIX S7/COOLPIX S8）

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	3.7V/730mAh
使用温度	0～40℃
寸法	約35（W）×47（H）×5（D）mm（突起部除く）
質量	約17 g（端子カバーを除く）

使用説明書について

- 使用説明書の誤りになどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

索引

英数・マーク

ア

付録

付録

アフターサービスについて

■この製品の操作方法や修理についてのお問い合わせは

この製品の操作方法や修理について、ご質問がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご覧ください。

●お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービスセンターにご依頼ください。

- ニコンサービスセンターにつきましては、「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、またはニコンサービスセンターにご相談ください。
- 修理に出されるときに、SDカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店またはニコンサービスセンターへお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービスセンターにお任せください。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社ホームページでご覧いただくことができます。
  http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm
- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行
FAX:(03)5977-7499

【お問い合わせ承り書】 太枠内のみご記入ください

お問い合わせ日：　　　　年　　月　　日
お買い上げ日：　　　　年　　月　　日
製品名：　　　　シリアル番号：
フリガナ お名前：
連絡先ご住所：□自宅　　□会社 〒 TEL: FAX:
ご使用のパソコンの機種名： メモリー容量：　　　　ハードディスクの空き容量： OS のバージョン：　　　　ご使用のインターフェースカード名： その他接続している周辺機器名： ご使用のアプリケーションソフト名： ご使用の当社ソフトウェアのバージョン名：
問題が発生した時の症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度： （おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください）

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

製品の使い方と修理に関するお問い合わせ

＜ニコンカスタマーサポートセンター＞

全国共通
☎ **0570-02-8000**
市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00（年末年始、夏期休暇等を除く毎日）
携帯電話、PHS等をご使用の場合は、**(03)5977-7033** におかけください。
FAXでのご相談は、**(03)5977-7499** におかけください。

音声によるご案内に従い、ご利用窓口の番号を入力してください。お問い合わせ窓口の担当者がご質問にお答えいたします。

修理サービスのご案内

修理サービスのご案内を下記URLにて行っております。
インターネットを利用して修理サービスの申し込みができます。
「修理見積り」、「修理状況」、「納期」などもご確認できますのでご利用ください。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/service/repair/index.htm

<インターネットを利用できない方のお問合せ>
ニコンカメラ販売（株）　サービス部　　**電話：(045)500-3050**
営業時間：9:30～17:30（土･日曜日、祝日、年末年始、夏期休業などを除く毎日）

株式会社ニコン
ニコンカメラ販売株式会社

Printed in Japan
TR6H02(10)
6MA23010--